消　防　年　報

2018

平成30年度刊行

飯 田 広 域 消 防 本 部

minami
shinshu
ニッポンの日本。

は　じ　め　に

この消防年報は、南信州広域連合飯田広域消防本部の現勢と、平成29年度中における消防業務の実態と統計を収録したものです。

今後の消防行政の円滑な推進を図るとともに、当消防本部に対するご理解を深めていただくための参考資料として御活用願えれば幸いです。

なお、諸表における数値は、各図表等に記入していますが、火災、救急等については暦年で、予算関係については会計年度でまとめてあります。

平成30年　８月

南信州広域連合　飯田広域消防本部

目　　次

はじめに …… 1
消防の沿革 …… 4
火災史 …… 12
飯田広域消防管内地勢図 …… 14
署所等の所在地 …… 14
関係市町村別面積・人口・世帯数 …… 15
消防庁舎等概要 …… 16

総　　務 …… 19

南信州広域連合理事者　関係市町村長 …… 20
歴代消防長 …… 20
南信州広域連合組織機構図 …… 21
飯田広域消防本部組織機構と職員配置 …… 22
職員階級別年齢 …… 23
職員階級別勤続年数 …… 23
消防予算 …… 24

予　　防 …… 25

防火対象物の現況 …… 26
中高層建物の状況 …… 28
防火対象物の予防査察実施状況 …… 29
防火対象物の防火管理状況 …… 30
防火管理者資格取得講習会実施状況 …… 31
消防同意事務件数 …… 32
危険物施設の状況 …… 33
危険物施設立入実施件数 …… 34
各種申請届出書受理件数 …… 34

警　　防 …… 35

消防機械等の現況 …… 36
特殊災害等対応資機材配置状況 …… 39
地震対策 …… 40
被害想定 …… 44
通信指令 …… 46
消防通信施設の現況 …… 48

統　　計 …… 49

火 災
月別火災発生状況 …… 50
市町村別月別火災発生件数 …… 51
過去最高発生件数と最近５年間の発生状況 …… 51
市町村別出火率・損害額の状況 …… 52
原因別月別火災発生状況 …… 53
時間帯別出火状況 …… 54

覚知別通報状況 …… 54

救　急
署別・月別救急出動件数 …… 55
事故種別・月別救急出動件数 …… 55
事故種別・年齢区分別・搬傷病程度別搬送人員 …… 56
救急隊員の行った応急処置 …… 57
市町村別・出動件数・搬送人員・事故種別救急業務実施状況 …… 58
事故種別・医療機関別搬送人員 …… 60
最近５年間の事故種別救急出動状況 …… 61
住民に対する応急手当普及啓発活動の実施状況 …… 61
飯伊地域メディカルコントロール事後検証会実施状況 …… 61

救　助
救助出動状況 …… 62
災害時における救助活動状況 …… 62
市町村別・事故種別出動状況 …… 63
署別・月別救助出動件数 …… 64
最近５年間の事故種別救助出動状況 …… 64

その他
署別出動状況 …… 65
ヘリコプターとの連携状況 …… 66
１１９番等緊急通報受付状況 …… 67
受付回線別１１９番等緊急通報受付状況等 …… 67
南信州広域連合火薬類処理事務の概要 …… 68

消　防　団 …… 69

関係市町村の消防団長 …… 70
消防団員の現況　年齢別消防団員数 …… 71
消防団出動状況 …… 72
消防機械の現況 …… 73
消防水利の状況 …… 73

関 係 団 体 …… 75

南信州危険物安全協会 …… 76
飯田地区防火管理者協議会 …… 77
飯田地区幼少年婦人防火委員会 …… 77

消　防　の　沿　革

(1) 飯田市編

昭和17年４月　太平洋戦争の戦局が一段ときびしさを増し、戦時下の防火体制を強化するために警防団に常備消防班が設置され、消防ポンプ自動車１台、常備消防隊13名の陣容によって発足する。
隊長に田中酉造氏就任

昭和22年９月　消防団令公布により飯田市警防団を廃止、新たに飯田市消防団を組織し発足する。
消防団長に木下陽康氏就任

昭和22年12月　消防組織法公布

昭和23年３月　消防組織法に基づき「飯田市消防本部」、「飯田市消防署」を創設
飯田市消防本部、消防署庁舎を飯田市上飯田6184番地に設置
初代消防長に、福沢福男氏就任

昭和23年７月　消防法公布

昭和26年10月　飯田市消防本部、消防署庁舎を飯田市鈴加町２丁目４番地に移転

昭和38年12月　新消防庁舎竣工（業務開始：12月23日）

昭和39年７月　飯田市消防本部（署）の組織及び庶務に関する規則制定
消防本部に２課　（総務課､防災課）６係設置

昭和39年10月　飯田市が鼎町・上郷村・高森町・喬木村の救急業務を受託（昭和39年10月１日）

昭和40年４月　上飯田地区に「消防署第1分署」を新設

(2) 飯田市及び消防組合編

昭和43年４月　飯田・鼎・上郷消防組合を設立、「組合消防署」を飯田市松尾上溝地籍に設置（業務開始：５月１日）

昭和44年８月　台風７号による豪雨のため神戸市立御影工業高校菅教諭をリーダーとする一行７名のパーティー全員が松川入り蜂の巣小屋で遭難、８月７日～８月11日（５日間）消防団による捜索隊を編成、西俣川・松川一円の捜索

昭和45年４月　組合消防署救急業務開始

昭和46年３月　広域消防体制の発足に伴い飯田市消防本部（署）解散

(3) 消防組合編　「飯田・鼎・上郷消防組合本部・消防署」

昭和46年３月　政令指定に伴い、１市２町（飯田市、下伊那郡鼎町、上郷町）による「飯田・鼎・上郷消防組合本部・消防署」発足

昭和46年５月　「西分署」を飯田市伊賀良に新設（業務開始：５月１日）

昭和47年10月　通信室を新設、一斉指令装置新設、業務開始
管理者に飯田市長松澤太郎氏就任

昭和48年２月　「北分署」を飯田市上飯田 361番地５に新設、業務開始

昭和48年５月　「東分署」を飯田市座光寺3948番地２に新設、業務開始

昭和49年５月　「竜峡分署」を飯田市龍江4531番地５に新設、業務開始

昭和49年７月　　北分署へ「救助隊を併設」
昭和50年６月　　西分署救急業務開始
昭和50年８月　　中央自動車道の開通に伴い隣接の関係町村と消防相互応援協定及び救急業務に関する覚書並びに恵那山トンネル相互応援協定を締結し、飯田インターチェンジを中心に高速道路に関する消防・救急業務開始
　　阿智村の救急業務を受託（昭和51年２月10日）
昭和51年５月　　組織機構の一部を改正し、消防署へ通信指令室を設置
昭和51年11月　　組織機構の一部を改正し、消防署を２方面隊（中央方面隊・南方面隊）設置
　　中央方面隊に救助係、査察係、南方面隊は査察係を設け、２課１署９係１室５分署
昭和52年１月　　竜峡分署救急業務開始
昭和52年３月　　中央方面隊へ救助工作車を配置
昭和53年４月　　第２次組織機構改正を実施し、消防本部に警防課を設け、防災課を予防課に改正
　　各方面隊の隊長・副隊長を専任制とし、その他組織の強化
昭和54年１月　　南方面隊本署を飯田市松尾2700番地１に新築移転
昭和54年７月　　通信機械の整備に伴い通信指令室を３階へ移動増築
昭和54年８月　　東海地震に係る地震防災対策強化地域として飯田市・鼎町・上郷町を指定
昭和54年10月　　各方面隊本署に救急係を設け、救急業務の強化
昭和55年２月　　救急無線複信化となる。
昭和55年３月　　北・西部地区7町村組合加入決定

(4) 広域消防編　「飯田地区広域消防組合」

昭和56年４月　　政令指定に伴い飯田市・鼎町・上郷町・松川町・高森町・清内路村・阿智村・喬木村・豊丘村・大鹿村の１市４町５村により「飯田地区広域消防組合」発足
　　北方面隊本署を高森町山吹竜口公民館に仮設（業務開始：４月１日）
昭和56年10月　　北方面隊本署新築落成（高森町山吹5920番地１）
　　広域化に伴い消防用同報無線親局通信施設工事完成
昭和58年９月　　県下全域を襲った台風10号による集中豪雨により、当消防組合管内も甚大な被害
　　被害状況　被害総額：289億4,539万円　死者行方不明者：２人
　　負傷者：８人　家屋全壊：７戸　半壊：30戸
昭和59年12月　　飯田市と鼎町との合併に伴い組合条例、規則改正
昭和60年４月　　組合組織機構を改正し、３方面隊制を３署制とする。
昭和61年４月　　政令指定に伴い下伊那南西部10町村（阿南町・浪合村・平谷村・根羽村・下條村・売木村・天龍村・泰阜村・上村・南信濃村）を含めた１市４町村14村により、「飯田地区広域消防組合」発足
　　飯田消防本部、消防救急通信指令システム（Ⅱ型）設置工事完成
昭和61年10月　　消防組合本部・飯田消防署庁舎新築落成（飯田市東栄町3345番地）
昭和62年３月　　阿南消防署消防救急指令装置等無線施設工事完成
　　阿南消防署・平谷分署・和田分署庁舎合同竣工式
昭和62年４月　　伊賀良分署を「伊賀良消防署」、松尾消防署を「松尾分署」とする。
　　阿南部会業務開始

昭和63年11月　　管理者に飯田市長田中秀典氏を選任
昭和64年１月　　７日　昭和天皇崩御
平成元年１月　　８日　年号「平成」と制定
平成２年１月　　飯田消防署座光寺分署庁舎移転　（飯田市座光寺5153番地４）
平成５年７月　　飯田市と上郷町の合併に伴い組合条例及び規則を改正
平成６年１月　　飯田消防署座光寺分署に救急自動車を配置し救急業務開始

(5) 複合組合編　「飯伊広域行政組合　飯田広域消防本部」

平成６年４月　　事務の効率化を目指し、５一部事務組合と１協議会の統合・複合化が図られ、「飯伊広域行政組合」を設立し、消防本部を「飯田広域消防本部」とする。
平成６年４月　　指令室を指令課に改め、高森消防署の管轄に座光寺分署を加え、予防・救急業務の充実強化を図り本部を４課８係、署を４署６分署29係体制
平成７年４月　　消防署を４署６分署33係体制
平成８年２月　　消防組織法に基づき消防相互応援を目的として県下18市町村長等による「長野県消防相互応援協定書」の調印（平成８年２月14日）
平成８年３月　　消防無線基地局（第４装置）を消防本部指令課へ増設
建設省中部地方建設局飯田国道工事事務所により、地域防災監視施設が整備されたことに伴い、消防本部指令課へモニター設備が設置され運用開始
平成８年９月　　伊賀良消防署、伊賀良消防署山本分署両庁舎竣工
平成８年10月　　伊賀良消防署、伊賀良消防署山本分署の新庁舎での業務開始
平成８年12月　　長野県北安曇郡小谷村で「12・６蒲原沢土石流災害」発生
長野県消防相互応援協定に基づき、10日間延60名の職員を派遣
平成９年４月　　中央自動車道、恵那山トンネル地区（日本道路公団、自主救急区域）の救急業務開始
消防署組織規程の一部を改正し、高森消防署に救急係を新設
平成９年12月　　消防組織法に基づく消防相互応援協定を岐阜県恵南消防組合との間で締結
高森消防署増改築工事完了
平成10年２月　　「第18回オリンピック冬期競技大会長野1998」開催に伴う支援として、職員５名を長野市消防局へ派遣　（派遣期間２月５日～２月24日、県下13支援消防本部職員数40名）
平成10年３月　　長野県防災行政連絡所として、長野県地域衛星通信ネットワーク整備事業が完成し３月17日から運用開始
消防本部消防緊急通信指令施設Ⅱ型設置工事完了
平成10年５月　　消防緊急通信指令施設が正式稼働
平成10年８月　　南信７消防本部の代表として、移動体通信119番受付転送業務を担当、業務開始施設設置
平成10年10月　　消防組織法に基づく消防相互応援協定を愛知県あすけ地域消防組合との間で締結
平成10年12月　　飯田消防署羽場分署庁舎移転（飯田市羽場町１丁目12番地４）
12月16日から業務開始

(6) 広域連合編　「南信州広域連合　飯田広域消防本部」

平成11年４月　「南信州広域連合」設立、
広域連合長に田中秀典飯田市長が就任
職員定数213名に対し、実員214名（飯田部会172名、阿南部会42名）
消防署組織規程の一部改正を行い伊賀良消防署へ救急係を新設
飯田消防署羽場分署　救急業務を開始
飯田地区防火管理者協議会及び飯田地区幼少年婦人防火委員会へ阿南部会加入

平成11年６月　梅雨前線の活発による集中豪雨で各地に被害
被害状況　河川溢水７件、床上浸水１件、床下浸水３件
家屋一部倒壊１件、避難世帯１件、土砂流出・崩落５件

平成11年７月　火薬類関係、委任事務開始

平成11年10月　長野県緊急消防援助隊合同訓練を、飯田市運動公園一帯を会場として実施
参加団体等:長野県消防防災航空隊・長野県15消防本部・飯田地区包括医療協議会・長野県災害救助犬隊ほか（ヘリコプター１機・消防車両50台・参加人員200人）

平成11年12月　飯田信用金庫から消防力拡充のため、2,000万円の寄附

平成12年１月　飯田消防署へ30m級はしご付消防自動車（4WS）１台を更新配置　国庫補助事業整備

平成12年２月　阿南消防署へ救急自動車（ﾄﾖﾀ ｱﾝﾋﾞｭﾗﾝｽ 4WD 2B型）１台を更新配置

平成12年４月　危険物規制事務及び火薬類許可等の事務の自治事務化
消防職員定数条例改正：定数214名（実員215名　飯田部会173名　阿南部会42名）
派遣：飯田市１名、大鹿村１名
阿南消防署に下伊那危険物安全協会事務が移管される。
広域連合構成市町村と災害対策本部の職員派遣に関する協定が締結され、各市町村の防災会議に委員の一員として消防吏員が参加

平成12年７月　飯田消防署へ水難救助用ボート（一式）を新規配置

平成12年８月　和田分署及び平谷分署へ査察広報車を更新配置
阿南消防署、和田分署、平谷分署へ衛星携帯電話を新規配置
木曽広域消防本部との清内路トンネル内災害応援協力体制を基本とした「清内路トンネル警防計画」を策定

平成12年９月　秋雨前線による集中豪雨のため、平谷村、根羽村、阿智村を中心に大きな被害

平成12年10月　伊賀良消防署龍江分署へ救急自動車（ﾄﾖﾀｱﾝﾋﾞｭﾗﾝｽ 4WD 2B型）１台を更新配置

平成13年２月　消防本部へ査察広報車（日産 4WD）を更新配置

平成13年３月　阿南消防署へ資機材搬送車を新規配置

平成13年４月　職員定数 214名に対し、実員 216名（飯田部会 174名　阿南部会42名）
派遣：飯田市１名、大鹿村１名、長野県危機管理消防防災課消防防災航空隊１名

平成13年10月　伊賀良消防署山本分署へ査察広報車（ｽｽﾞｷｽｳｨﾌﾄ4WD）１台を配置
寄贈：㈱セイコーアドバンス
気象観測装置を阿南消防署へ更新配置

平成13年12月　高森消防署へ小型動力ポンプ付水槽車（三菱 5000L　B2型）１台を新規配置
阿南消防署連絡車用車庫増築　　増築面積　103.56㎡

平成14年２月　高森消防署座光寺分署へ救急自動車（ﾄﾖﾀ ｱﾝﾋﾞｭﾗﾝｽ4WD）１台を更新配置
寄贈：全国共済農業共同組合連合会長野本部
平成14年３月　阿南消防署へ査察広報車（ﾄﾖﾀﾌﾟﾚﾐｵ）新規配置
阿南消防署へ軽積載車（三菱660cc B3型）更新配置
総務省消防庁からB.C（生物・化学）テロ対策用資機材を貸与　飯田消防署へ配置
平成14年12月　伊賀良消防署へ消防ポンプ自動車(三菱/日本ﾄﾞﾗｲｹﾐｶﾙ 4WD CD-Ⅰ型）１台を更新配置
阿南消防署へ消防ポンプ自動車（三菱/ﾓﾘﾀ 4WD CD-Ⅰ型）１台を更新配置
阿南消防署和田分署へ救急自動車（ﾄﾖﾀｱﾝﾋﾞｭﾗﾝｽ 4WD 2B型）１台を更新配置
平成15年４月　職員定数214名に対し、実員216名
派遣：飯田市１名、大鹿村１名、長野県危機管理消防防災課消防防災航空隊１名、長野県消防学校１名
消防本部組織規則及び消防署組織規程の一部改正し、組織機構の見直し実施
警防課と指令課を統合し警防課
警防課に指令３係と情報管理専門主査を配置
伊賀良消防署、高森消防署の救急係を２係体制
平成15年５月　第１回飯伊地区メディカルコントロール分科会で飯伊包括医療協議会事務局、検証医10名（輪番病院医師）によるＣＰＡに対しての事後検証会を毎月第２木曜日に実施することに決定
平成15年６月　龍江分署庁舎建築用地買収完了
地権者：１名　買収面積（農地）：756㎡　価格：12,593,448円
平成15年７月　消防本部警防課に査察広報車（ﾄﾖﾀﾌﾟﾛﾎﾞｯｸｽ 4WD）１台を更新配置
平成15年８月　第１回事後検証会議を、８月21日に、検証医９名、救急隊員27名及び事務局４名にてＣＰＡ14症例について検討を飯田医師会館で実施
平成15年８月　龍江分署用地として、塩澤方子氏より宅地・雑種地92㎡の寄附
平成15年11月　阿南消防署平谷分署へ消防ポンプ自動車（三菱/ﾓﾘﾀ CD-Ⅰ型）１台を更新配置
平成16年１月　飯田線鉄道災害救急救助安全連絡地域分科会設置会議を飯田消防本部にて開催
平成16年２月　阿南消防署平谷分署へ救急自動車（ﾄﾖﾀｱﾝﾋﾞｭﾗﾝｽ 4WD 2B型）１台を更新配置
平成16年３月　龍江分署新築用地平成15年度分造成工事（県道自営・飯田市自営工事一部）完了
山本分署へ救急自動車（ﾄﾖﾀｱﾝﾋﾞｭﾗﾝｽ 4WD 2B型）１台を更新配置
寄贈：全国農業協同組合連合会長野県本部
平成16年４月　職員定数214名に対して実員216名
派遣：飯田市１名、大鹿村１名、長野県消防学校１名
平成16年７月　「新潟・福島豪雨災害」、「福井豪雨災害」の被災地へ緊急消防援助隊を派遣
新潟県　13日～15日（３日間）救助工作車他車両２台　隊員６名
福井県　18日～19日（２日間）救助工作車他車両２台　隊員８名
平成16年８月　伊賀良消防署龍江分署庁舎新築工事入札
平成16年９月　阿南消防署へ除細動器１台を新規配置
平成16年10月　阿南消防署和田分署へ消防ポンプ自動車（日野/ﾓﾘﾀ CD-Ⅰ型）１台を更新配置
「新潟県中越地震」の被災地（妙見町母子３名生き埋め崩落現場）へ緊急消防援助隊を派遣　25日～29日（５日間）　救助工作車・救急車他車両１台　隊員15名

平成16年11月　広域連合長に飯田市長牧野光朗氏就任

平成16年12月　飯田信用金庫から消防車両整備に2,200万円の寄附金と査察広報車１台（ﾄﾖﾀﾌﾟﾘｳｽ）の寄贈を受け、寄附金による車両整備は、17年度に行う。
査察広報車は、消防本部へ更新配置

平成17年３月　阿南部会の消防無線システム改修工事完了
伊賀良消防署龍江分署庁舎の落成式を挙行
面　積：455.42㎡　　総工事費：138,615,000円

平成17年４月　職員定数214名に対し、実員216名
派遣：飯田市１名、大鹿村１名、長野県危機管理室１名

平成17年10月　上村、南信濃村が飯田市に編入合併し、構成市町村が１市３町12村となる。
佐久総合病院に常駐するドクターヘリが、飯田下伊那地域での運行を開始

平成18年１月　浪合村が阿智村に編入合併し、構成市町村が１市３町11村となる。
高森消防署座光寺分署へ消防ポンプ自動車（三菱/ﾓﾘﾀ CD-Ⅰ型）１台を更新配置

平成18年２月　飯田消防署へ救助工作車Ⅱ型（日野/ 帝国繊維）１台を更新配置

平成18年４月　飯田部会、阿南部会を一体化し業務運用を開始
消防職員定数条例改正：定数217名　実員218名　派遣：飯田市１名、大鹿村１名
消防本部組織規則の一部を改正し、警防課指令係を３係３部体制
飯田地区危険物安全協会と下伊那危険物安全協会が合併して、南信州危険物安全協会が設立

平成18年７月　岡谷市湊・川岸地区土石流災害の被災地へ長野県消防相互応援協定に基づき救助隊を派遣　川岸・湊地区　19日～21日（３日間）救助工作車他車両３台　隊員13名

平成18年９月　予防課へ査察広報車１台（ｽｽﾞｷｿﾘｵ4WD）配置　寄贈：㈱セイコーアドバンス

平成19年１月　消防本部指令台の阿南関係 119番受付改修工事が完了し運用開始
（飯田下伊那全域の 119番受付集約）
飯田消防署へ高規格救急自動車（ﾄﾖﾀﾊｲﾒﾃﾞｨｯｸ）１台を更新配置

平成19年３月　阿南消防署へ救助工作車（いすゞ/ﾓﾘﾀ）１台を更新配置

平成19年４月　消防本部組織規則及び消防署組織規程の一部改正し、組織機構の見直し実施

平成20年３月　高森消防署へ高規格救急自動車（ﾄﾖﾀﾊｲﾒﾃﾞｨｯｸ）１台を更新配置
阿南消防署庁舎の増改築工事完了

平成20年12月　飯田消防署から伊賀良消防署へ15m級梯子付消防ポンプ自動車を配置換え

平成21年３月　平谷分署、和田分署の車庫に救急処置室の増設
清内路村と阿智村が合併したことにより、構成市町村が１市３町10村となる。
阿南消防署へ水難救助用ボート一式配置　寄贈：アルプスマリーン
飯田消防署へ水難救助用ボート一式配置

平成21年５月　飯田消防署、伊賀良消防署へ指令車（日産バネット）１台を更新配置

平成21年６月　阿南消防署へ和田分署から阿南95号車を配置換えし指令車として配置
飯田消防署へ平谷分署から阿南85号車を配置換えし資機材搬送車として配置

平成21年10月　高森消防署、龍江分署へ消防ポンプ自動車（ﾄﾖﾀ/日本ﾄﾞﾗｲｹﾐｶﾙ 600Lﾀﾝｸ付 CD-Ⅰ型）各１台を更新配置
山本分署へ消防ポンプ自動車（ﾄﾖﾀ/ﾓﾘﾀ ＣＡＦＳ装置付 CD-Ⅰ型）１台を更新配置

平成21年12月　飯田消防署へ救急普及啓発広報車（日産ｼﾋﾞﾘｱﾝ）を新規配置
寄贈：財団法人救急振興財団
平成22年１月　阿南消防署へ配置泰阜村から積載車（ﾄﾖﾀ ﾀﾞｲﾅ）の譲渡を受ける。
平成22年６月　飯田消防署へ査察広報車（ｽｽﾞｷｴﾌﾞﾘｲ4WD）１台を配置
寄贈：㈱セイコーアドバンス
平成23年１月　阿南消防署へ高規格救急車（日産 ﾊﾟﾗﾒﾃﾞｨｯｸ）１台を更新配置
寄贈：社団法人日本損害保険協会
平成23年３月　伊賀良消防署へ高規格救急自動車（ﾄﾖﾀ ﾊｲﾒﾃﾞｨｯｸ）１台を更新配置
空気充填庫のコンプレッサー（移動式）を更新
３月11日　14時46分　三陸沖を震源とする東北地方太平洋沖地震（Ｍ 9.0、最大震度７）が発生、この地震災害に対し宮城県に緊急消防援助隊を派遣
３月11日～４月３日（24日間）　救助工作車他車両２台　隊員76名
平成23年８月　羽場分署に高規格救急自動車（ﾄﾖﾀ ﾊｲﾒﾃﾞｨｯｸ）１台を更新配置
寄贈：全国共済農業協同組合連合会長野県本部
平成24年８月　国の補助金を活用し、消防救急デジタル無線施設及び指令施設工事着工
２箇年で整備を行う。
平成24年10月　飯田地区防火管理者協議会創立50周年記念式典を挙行、煙体験ハウス及びスモークマシンが寄贈される。
平成25年３月　消防救急デジタル無線共通波整備完了
車載無線60台、デジタル携帯無線54台を装備
平成25年12月　消防救急デジタル無線施設及び指令施設工事完了し、試験運用開始
平成26年２月　警防課へⅣ型支援車　（日産 ｷｬﾗﾊﾞﾝ）１台を新規配置
総務省消防庁から緊急消防援助隊支援資機材・可搬型衛星地球局（ＶＳＡＴ）の貸与を受け、Ⅳ型支援車に車載し運用開始
平成26年３月　消防救急デジタル無線及び指令施設の正式運用開始
平成26年５月　ＮＴＰヴィークルグループ株式会社から電気自動車「トヨタコムス」の寄贈を受ける。
平成26年８月　㈱セイコーアドバンスから査察広報車（ｽｽﾞｷｴﾌﾞﾘｲ4WD）１台の寄贈を受ける。
平成26年９月　平成26年９月27日　11時52分ごろ
御嶽山噴火　警戒レベル３（入山規制）
人的被害（長野県のみ）
死者：56名　負傷者：59名（重傷27名、軽傷32名）
行方不明者：６名（平成27年３月現在）
長野県消防相互応援協定に基づき出動し、９月28日から10月17日までの20日間にわたり、延べ47隊 158名を派遣する。（救助隊18隊90名、救急隊10隊30名、後方支援隊19隊38名）
長野県相互応援隊（13消防本部）　延べ 437隊1369名を派遣（20日間）
緊急援助隊（６都県隊）　延べ 648隊2685名を派遣（20日間）
平成26年11月　神城断層地震
平成26年11月22日　22時08分ごろ
長野県北部（北緯36.7度、東経 137.9度）

震源の深さ　５km　規模　マグニチュード6.7
平成26年11月23日　長野県消防相互応援協定に基づき指揮隊・救助隊・後方支援隊（計10名）を派遣する。（平成26年11月23日午前２時30分から午後６時まで）
緊急消防援助隊（６都県隊）　22隊97名を派遣。

平成27年３月　飯田消防署へ消防ポンプ自動車（日野/ﾓﾘﾀ　ＣＡＦＳ装置付CD-Ⅰ型）１台を更新配置
羽場分署へ消防ポンプ自動車（日野/ﾓﾘﾀ　ＣＡＦＳ装置付CD-Ⅰ型）各１台を更新配置

平成27年７月　御嶽山噴火災害に係る行方不明者再捜索実施
長野県消防相互応援隊として再捜索隊を派遣
派遣期間：７月28日（火）から11日間（捜索期間：29日（水）から９日間）
捜索隊編成：捜索隊員５名（捜索隊４名・後方支援部隊１名）
（県内消防本部　捜索隊員71名（捜索隊61名・後方支援部隊10名））
捜索結果：行方不明者６名のうち１名を発見する。

平成27年９月　飯田信用金庫から化学車（日野/ﾓﾘﾀ　ＣＡＦＳ装置付）１台の寄贈を受け、飯田消防署へ更新配置する。（９月18日運用開始）

平成28年２月　高森消防署座光寺分署へ高規格救急自動車（ﾄﾖﾀ ﾊｲﾒﾃﾞｨｯｸ）１台を更新配置
阿南消防署平谷分署へ高規格救急自動車（ﾄﾖﾀ ﾊｲﾒﾃﾞｨｯｸ）１台を更新配置

平成28年３月　救命サポート隊の試行運用
阿智村清内路地区における救命サポート隊試行運用を開始する。
清内路振興室職員３名を隊員登録する。

平成28年３月　14市町村への無線波を使用した火災放送システムを有線（光回線）による放送システムに改修する。施工業者：サスナカ通信工業株式会社

平成28年７月　恵那山トンネル無線補助設備のデジタル化に伴い、有線遠隔方式からデジタル無線（活動波４）遠隔方式に変更し運用を開始する。

平成29年２月　高森消防署へ指揮車（ﾄﾖﾀ ﾚｼﾞｱｽｴｰｽ）１台を更新配置
伊賀良消防署山本分署へ高規格救急自動車（ﾄﾖﾀ ﾊｲﾒﾃﾞｨｯｸ）１台を更新配置
阿南消防署和田分署へ高規格救急自動車（ﾄﾖﾀ ﾊｲﾒﾃﾞｨｯｸ）１台を更新配置

平成29年11月　長野県消防相互援助隊合同訓練
第１ステージ(受援訓練)飯田広域消防本部３階大会議室（参加者：50名）。
第２ステージ(部隊運用訓練)飯田市川路多目的広場他を会場として実施参加団体等：長野県消防防災航空隊・長野県13消防(局)本部・飯田地区包括医療協議会・他
参加隊及び参加人員：飯田広域消防93名・県内12消防本部39隊135名・ヘリコプター５機・関係機関及び他飯田市住民等約3,000名

平成29年12月　飯田広域消防本部庁舎屋根及び壁改修工事完了。　施工業者：勝間田建設

平成30年２月　伊賀良消防署龍江分署へ高規格救急自動車（ﾄﾖﾀ ﾊｲﾒﾃﾞｨｯｸ）１台を更新配置

平成30年３月　阿南消防署平谷分署へ査察広報車（ﾄﾖﾀ ﾌﾟﾛﾎﾞｯｸｽ）１台を配置

火　　災　　史

飯田下伊那地区は古くから大火が多く、記録に残る大火のみでも、慶長元年（1596）以来400余年間で、100回に達している。

過去の記録中、大火と称せられるもの又は特異な火災は、次のとおりである。

１．文政６年（1823）12月23日　世にいう「床屋火事」は、箕瀬町の床屋から出火し、延焼13町、全焼 1,127軒、空前の大火となった。

２．天保２年（1831）１月13日　箕瀬町の住宅から出火し、105軒が焼失する。

３．明治６年（1873）７月25日　大横町の住宅から出火し、95軒が焼失する。

４．明治７年（1874）５月31日　知久町の住宅から出火し、50軒が焼失する。

５．明治26年（1893）８月６日　追手町の住宅から出火し、125軒が焼失する。

６．明治27年（1894）６月10日　池田町の住宅から出火し、161軒が焼失する。

７．大正７年（1918）５月30日　下馬場町の遊郭から出火し、45軒が焼失する。

８．大正８年（1919）10月15日　桜町２丁目大火、焼失50軒

９．大正11年（1922）５月４日　愛宕坂の住宅から出火し、折からの強風にあおられ愛宕町、常盤町、知久町１丁目、本町１丁目、追手町２・３丁目の約５万坪、358戸を焼失する。

10．昭和21年（1946）７月15日　元町の住宅から出火した火災は、４ｍ／分の西風にあおられ、湿度39％の乾燥に乗じ元町、栄町、日の出町、浅間町、清水町の15,000坪、193戸を焼失する。

　り災者：850名

11．昭和22年（1947）４月20日　午前11時48分頃、上常盤の住宅から出火し、出火時の気象は、南の風風速 5.5ｍ／分、湿度33％であったが、火災が拡大するにつれて次第に強風（午後２～３時頃には11～13ｍ／分）となった。

　発生当時の火は、火元のすぐ北側に当たる八十二銀行飯田支店（鉄筋コンクリート造３階建）に北進を阻まれ、火勢は二手に別れ、火元から50ｍに位置する銀座通り映画館（大松座）に延焼するころから大火の様相を示し始めた。常盤町、追手町方面と銀座通り、知久町、本町、松尾町方面に延び、南より北に向かって高くなる地勢のため市内北部方面においては地上をはって北進するので、延焼に至らぬ間に煙のため東西方面に避難せざるを得ない実態となり、まったくの大火と化した。

　り災区域：51町（り災を免れたもの47町）　焼失戸数：3,577戸（4,010世帯）

　り災人員：17,778人　焼失面積：22万坪　延焼時間：約10時間

12．昭和34年（1959）５月29日　午後２時26分頃、上郷村別府の煙火工場で爆発事故が発生する。

　死者：７名　重傷者：７名　軽傷者：83名　家屋の全壊：14戸　半壊：74戸

　軽損：1,959戸　被災人員：9,276人

13．昭和45年（1970）４月13日　午後６時30分頃、飯田市上飯田大平地区の中心地にあった精密工場から出火する。全焼：７棟　焼失面積：952㎡

　この火災をきっかけにして大平地区の集団移住が行われた。

14．昭和46年（1971）５月13日　午前１時40分頃、飯田市毛賀の工場から出火する。

　工場１棟半焼　焼失面積：1,600㎡

15. 昭和49年（1974）10月17日　午前１時55分頃、飯田市高田町の飯田市立飯田東中学校から出火する。

全焼：５棟（第４校舎木造２階建他）、半焼：１棟（第３校舎木造２階建）

焼失面積： 2,758㎡

16. 昭和59年（1984）５月12日　午前10時50分頃、豊丘村神稲の下烏帽子山から鬼面山にかけて延焼が３日間にわたる林野火災が発生し、13日の午後から14日には、自衛隊のヘリコプター２機による空中消火作業を行い５月14日午前10時40分の47時間ぶりに鎮火した。焼失面積：43ha

17. 平成７年（1995）８月８日　午後０時46分頃、阿南町和合鈴ヶ沢の官行造林地から出火して延焼し､鈴ヶ沢地籍で２日間にわたる林野火災が発生し､９日の午前から自衛隊のヘリコプター５機による空中消火作業を行い午後４時05分に鎮火した。焼損面積：20ha

18. 平成８年（1996）２月29日　午前７時頃、飯田市追手町１丁目、通称「柳小路」の飲食店から出火し、裏側銀座４丁目商店街へも延焼、全焼８棟など12棟が焼損して３時間後に鎮火した。

焼損面積：1,427㎡　り災者：26名

19. 平成11年（1999）10月３日　午前７時15分頃、根羽村で危険物移送中の交通事故により発生した火災（移動タンク貯蔵所の爆発火災事故）は、タンクローリーがガソリン20キロリットルを積載して国道を走行中に横転炎上し、周囲の山林等に延焼、約２時間後に鎮火した。

20. 平成12年（2000）１月11日（金）～１月20日（日）までの10日間、飯田広域消防初の「焼死火災多発非常事態宣言」を発令し、警戒に努める。平成12年１月１日の焼死火災から短期間に焼死火災が続いたものに対応したもので、この年過去最悪の９名の焼死者が発生するという異常事態となった。

21. 平成12年（2000）10月27日　午前２時頃、飯田市馬場町３丁目の住宅から出火し、急斜地に軒を連ねる建物に延焼、全焼５棟など８棟焼損し約２時間後に鎮火した。

焼損面積：854㎡　り災者：７名

飯田市大火での延焼を免れた古い木造建物が立ち並び、狭隘な道路と空き家が多い延焼拡大危険地域で発生した特異な火災である。

22. 平成18年（2006）５月31日　午後５時44分頃、阿智村智里大野地籍で危険物移送中の交通事故により発生した火災（移動タンク貯蔵所の爆発火災事故）は、タンクローリーが軽油20キロリットルを積載して国道を走行中に横転、転落炎上し、周囲の山林等に延焼、約１時間後に鎮火した。死者：１名

23. 平成29年（2017）５月５日 午後４時26分、飯田市南信濃南和田地籍（通称：戸倉山東側尾根）から林野火災が発生し、４日間にわたって燃え続け、５月９日午後１時30分に鎮火した。

この火災に対して、５都県の消防防災ヘリと陸上自衛隊ヘリを要請し、延べ194回、散水量589,100ℓにおよぶ空中消火を実施。また、地上部隊（消防署及び消防団）は「背負い式消火水のう」による消火活動を実施。　焼損面積：238a

飯田広域消防管内地勢図

署所等の所在地

名　　称	所　　在　　地	電話番号	FAX番号	郵便番号
消 防 本 部	飯田市東栄町3345番地	0265-23-0119	23-6007	395-8533
飯 田 消 防 署	飯田市東栄町3345番地	0265-22-0119	22-0119	395-8533
羽 場 分 署	飯田市羽場町1丁目12番地4	0265-52-0119	52-0119	395-0063
伊賀良消防署	飯田市上殿岡721番地2	0265-25-0119	25-0119	395-0153
山 本 分 署	飯田市山本5340番地1	0265-25-1195	25-1195	395-0244
龍 江 分 署	飯田市龍江4531番地5	0265-27-4911	27-4911	399-2221
高 森 消 防 署	下伊那郡高森町山吹5920番地1	0265-35-0119	35-0119	399-3101
座 光 寺 分 署	飯田市座光寺5153番地4	0265-53-0119	53-0119	395-0001
阿 南 消 防 署	下伊那郡阿南町西條417番地15	0260-22-3344	22-3308	399-1504
平 谷 分 署	下伊那郡平谷村433番地1	0265-48-2011	48-2012	395-0601
和 田 分 署	飯田市南信濃八重河内121番地	0260-34-5588	34-5589	399-1312

飯田広域消防本部ホームページ　　ＵＲＬ　http://119.minami.nagano.jp

関係市町村別 面積・人口・世帯数

（平成30年４月１日現在）

区分 市町村	郵便番号	役所(場)所在地	電話番号 FAX番号	面積 (㎢)	人　口 （人）	世帯数 （戸）
飯田市	395-8501	飯田市大久保町2534番地	0265-22-4511 0265-24-4511	658.66	102,012	39,735
松川町	399-3303	松川町元大島3823番地	0265-36-3111 0265-36-5091	72.79	13,316	4,656
高森町	399-3103	高森町下市田2183番地1	0265-35-3111 0265-35-8294	45.36	13,162	4,414
阿南町	399-1511	阿南町東條58番地1	0260-22-2141 0260-22-2576	123.07	4,680	2,063
阿智村	395-0303	阿智村駒場483番地	0265-43-2220 0265-43-3940	214.43	6,511	2,371
平谷村	395-0601	平谷村354番地	0265-48-2211 0265-48-2212	77.37	420	195
根羽村	395-0701	根羽村1762番地	0265-49-2111 0265-49-2277	89.97	942	414
下條村	399-2101	下條村睦沢8801番地1	0260-27-2311 0260-27-3536	38.12	3,765	1,277
売木村	399-1601	売木村968番地1	0260-28-2311 0260-28-2135	43.43	550	271
天龍村	399-1201	天龍村平岡878番地	0260-32-2001 0260-32-2525	109.44	1,326	733
泰阜村	399-1895	泰阜村3236番地1	0260-26-2111 0260-26-2553	64.59	1,644	694
喬木村	395-1107	喬木村6664番地	0265-33-2001 0265-33-3679	66.61	6,463	2,152
豊丘村	399-3295	豊丘村大字神稲3120番地	0265-35-3311 0265-35-9065	76.79	6,749	2,145
大鹿村	399-3502	大鹿村大字大河原354番地	0265-39-2001 0265-39-2269	248.28	1,038	507
				1,928.91	162,578	61,627

備考　面積・人口・世帯数は平成30年全国消防長会消防現勢調査の値（市町村調）

消防庁舎等概要

〔消防本部　飯田消防署〕

位　　置　飯田市東栄町3345番地
敷地面積　4,760.57㎡
建築延面積　3,110.86㎡
構　　造　鉄筋コンクリート造３階建
竣工年月日　昭和61年９月20日

〔飯田消防署 羽場分署〕

位　　置　飯田市羽場町1丁目12番地４
敷地面積　1,313.11㎡
建築延面積　383.58㎡
構　　造　鉄骨造平屋建
竣工年月日　平成10年12月17日

〔伊賀良消防署〕

位　　置　飯田市上殿岡721番地２
敷地面積　2,081.05㎡
建築延面積　640.44㎡
構　　造　鉄骨造平屋建
竣工年月日　平成８年９月21日

〔伊賀良消防署 山本分署〕

位　　置　飯田市山本5340番地１
敷地面積　1,260.12㎡
建築延面積　350.00㎡
構　　造　鉄骨造平屋建
竣工年月日　平成８年９月21日

〔伊賀良消防署 龍江分署〕

位　　置　飯田市龍江4531番地５
敷地面積　1,316.06㎡
建築延面積　455.42㎡
構　　造　木造一部鉄骨２階建
竣工年月日　平成17年３月25日

〔高森消防署〕

位　　置　下伊那郡高森町山吹5920番地１
敷 地 面 積　1,850.29㎡
建築延面積　585.27㎡
構　　造　鉄骨造モルタル平屋建
竣工年月日　昭和56年４月30日

〔高森消防署 座光寺分署〕

位　　置　飯田市座光寺5153番地4
敷 地 面 積　1,133.74㎡
建築延面積　298.87㎡
構　　造　木造モルタル平屋建
竣工年月日　平成２年１月26日

〔阿南消防署〕

位　　置　下伊那郡阿南町西條417番地15
敷 地 面 積　2,001.00㎡
建築延面積　603.23㎡
構　　造　鉄骨造平屋建
竣工年月日　昭和61年12月10日

〔阿南消防署 平谷分署〕

位　　置　下伊那郡平谷村433番地１
敷 地 面 積　780.71㎡
建築延面積　294.96㎡
構　　造　木造一部鉄骨平屋建
竣工年月日　昭和62年１月25日

〔阿南消防署 和田分署〕

位　　置　飯田市南信濃八重河内121番地
敷 地 面 積　857.47㎡
建築延面積　291.72㎡
構　　造　鉄骨造平屋建
竣工年月日　昭和62年１月25日

総　　務

平成 30 年仕事始め式（通常点検）

南信州広域連合理事者等

（平成30年４月１日現在）

広域連合長

牧　野　光　朗　（飯田市長）

副広域連合長

松　島　貞　治　（泰阜村長）

副管理者

佐　藤　　健　（飯田市副市長）

関係町村長

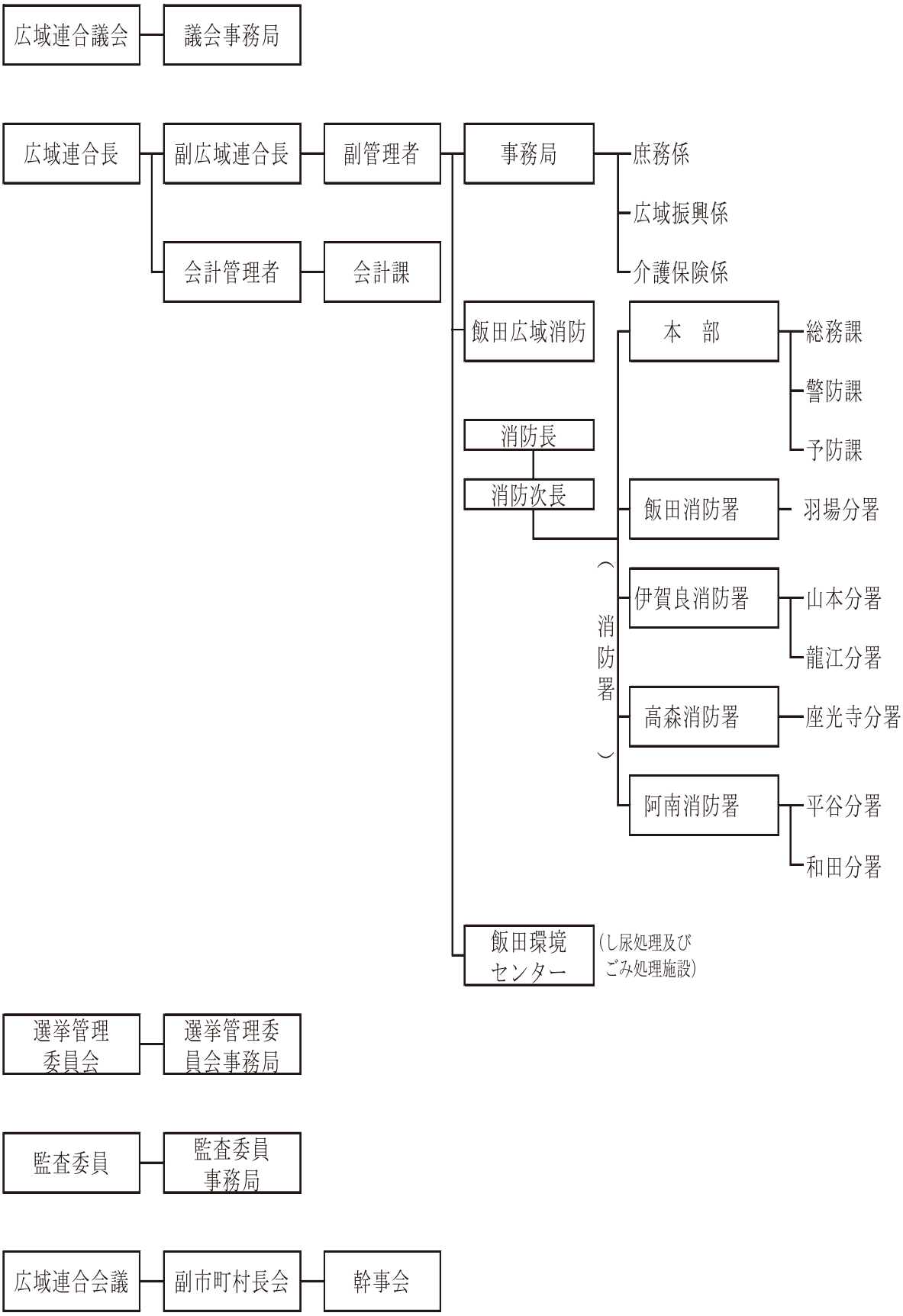
深　津　　徹 （松川町長）	壬　生　照　玄 （高森町長）	勝　野　一　成 （阿南町長）	熊　谷　秀　樹 （阿智村長）
小　池　正　充 （平谷村長）	大久保　憲　一 （根羽村長）	金　田　憲　治 （下條村長）	清　水　秀　樹 （売木村長）
永　嶺　誠　一 （天龍村長）	市　瀬　直　史 （喬木村長）	下　平　喜　隆 （豊丘村長）	柳　島　貞　康 （大鹿村長）

歴代消防長

氏　名	在任期間	氏　名	在任期間
福　沢　福　男	昭和23年 3月 7日 昭和26年 3月31日	蜂　谷　　伸	平成 6年 4月 1日 平成 9年 3月31日
山　口　又　蔵	昭和26年 4月 4日 昭和44年 3月31日	牧　島　忠　司	平成 9年 4月 1日 平成12年 3月31日
松　島　章　男	昭和44年10月20日 昭和48年 7月14日	中　平　　勝	平成12年 4月 1日 平成14年 3月31日
村　沢　光　男	昭和48月 7月15日 昭和51年 3月31日	鈴　木　邦　幸	平成14年 4月 1日 平成16年 3月31日
久　保　武　敏	昭和51年 4月 1日 昭和52年 2月11日	林　田　　弘	平成16年 4月 1日 平成18年 3月31日
宮　内　省　治	昭和52年 2月12日 昭和52年 3月31日	長　沼　弘　明	平成18年 4月 1日 平成19年 3月31日
三　石　　亮	昭和52年 4月 1日 昭和58年 3月31日	今　牧　英　明	平成19年 4月 1日 平成22年 3月31日
相　津　　実	昭和58年 4月 1日 昭和59年11月30日	澤　柳　陽　一	平成22年 4月 1日 平成24年 3月31日
高　木　　尚	昭和59年12月 1日 昭和61年 3月31日	山　田　耕　三	平成24年 4月 1日 平成26年 3月31日
栗　林　喜代司	昭和61年 4月 1日 平成 1年 3月31日	桂　　稔	平成26年 4月 1日 平成28年 3月31日
宮　澤　英　夫	平成 1年 4月 1日 平成 4年 3月31日	関　島　弘　文	平成28年 4月 1日
吉　河　省　治	平成 4年 4月 1日 平成 6年 3月31日		

南信州広域連合組織機構

（平成30年4月1日現在）



飯田広域消防本部組織機構と職員配置

（平成30年4月１日現在）

区分			階級	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
消防本部	消防長			1								1
	総務課	次長（課長）			1							1
		課長補佐					(1)					(1)
		庶務係					1			1		2
		職員係					1		1		6	8
		派遣職員							2			2
	警防課	課長				1						1
		専門幹				1						1
		課長補佐					(3)					(3)
		企画広報係					1		1			2
		情報管理					1					1
		指令第１係						2	1			3
		指令第２係					1	2				3
		指令第３係					1	1	1			3
		派遣職員										
	予防課	課長				1						1
		課長補佐										
		予防係					1		1			2
		危険物係						2				2
	本部計			1	1	3	7	7	7	1	6	33
消防署	飯田消防署	署長				1						1
		署長補佐					(2)					(2)
		消防第１係						2	2		3	7
		消防第２係						1	2	1	3	7
		救急第１係					1	1			1	3
		救急第２係						2			1	3
		救助第１係						2	2	1	1	6
		救助第２係						3	2	1		6
		予防係					1	3		2		6
		羽場分署	第１係				1	2	1		1	5
			第２係					2	1		3	6
		小計				1	3	18	10	5	13	50
	伊賀良消防署	署長				1						1
		署長補佐					(1)					(1)
		消防第１係					1	1	1		2	5
		消防第２係					1	2	1		2	6
		救急第１係						2	1			3
		救急第２係					1		1		1	3
		予防係						5	2			7
		山本分署	第１係					3	1		2	6
			第２係					4			2	6
		龍江分署	第１係					3		1	2	6
			第２係					2	2		1	5
		小計				1	3	22	9	1	12	48
	高森消防署	署長				1						1
		署長補佐					(2)					(2)
		消防第１係					1	1	1		2	5
		消防第２係						2	1		3	6
		救急第１係						1	1	1		3
		救急第２係					1		1		1	3
		予防係						4	2			6
		座光寺分署	第１係			2	1	1	2	6		
			第２係				1	1	1	1	1	5
		小計				1	3	11	8	3	9	35
	阿南消防署	署長				1						1
		署長補佐					(2)					(2)
		消防第１係					1	2			2	5
		消防第２係					1	3			2	6
		救急第１係						2	1			3
		救急第２係						2		1		3
		予防係						4	1	1		6
		平谷分署	第１係				1	2	1		2	6
			第２係					2	3		1	6
		和田分署	第１係					3	1	1	1	6
			第２係					3	2		1	6
	小計					1	3	23	9	3	9	48
	署合計					4	12	74	36	12	43	181
総計				1	1	7	19	81	43	13	49	214

注（　）数字は、課長補佐又は署長補佐を再計する。

職員階級別年齢

（平成30年4月1日現在）

年齢＼階級	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
20歳未満								6	6
20歳以上25歳未満								29	29
25歳以上30歳未満						5	8	14	27
30歳以上35歳未満						23	5		28
35歳以上40歳未満					2	8			10
40歳以上45歳未満					22	6			28
45歳以上50歳未満					20	1			21
50歳以上55歳未満				8	18				26
55歳以上	1	1	7	11	19				39
合　計	1	1	7	19	81	43	13	49	214
平均年齢	59.0	57.0	56.9	55.3	48.7	33.9	28.4	22.8	39.6

職員階級別勤続年数

（平成30年4月1日現在）

年齢＼階級	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
5年未満								37	37
5年以上10年未満						2	12	12	26
10年以上15年未満						27	1		28
15年以上20年未満					3	14			17
20年以上25年未満					21				21
25年以上30年未満					19				19
30年以上	1	1	7	19	38				66
合　計	1	1	7	19	81	43	13	49	214
平均勤続年数	37.0	39.0	38.0	35.7	28.3	13.2	8.2	3.1	19.3

消防予算

(1)　消防予算の推移（当初予算）

（単位：千円）

目＼年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
一般管理費		1,957,976	1,992,808	1,910,515	1,944,086	2,004,053
常備消防費		45,137	44,087	44,628	47,805	51,821
消防施設費		78,762	80,969	74,395	37,276	57,988
公　債　費		16,125	45,136	115,462	115,433	114,498
予　備　費		4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
合　　計		2,102,000	2,167,000	2,149,000	2,148,600	2,232,360
消防予算に対する割合	一人当たり	12,100円	12,967円	12,979円	13,212円	13,731円
	1世帯当たり	33,392円	35,376円	34,906円	35,182円	36,224円

(2)　平成30年度広域連合関係市町村消防費の内訳

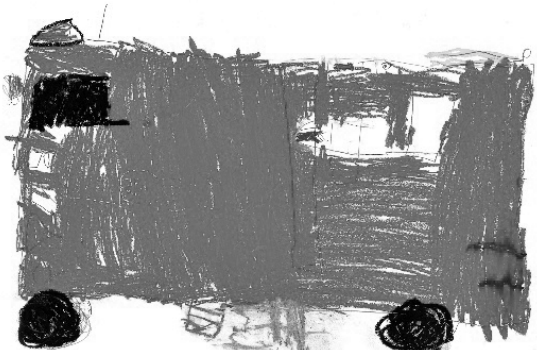
（単位：千円）

市町村＼内訳	消防費				一般会計総予算	総予算に対する割合（%）
	常備消防費	非常備消防費	その他	計		
飯田市	1,000,776	204,251	257,669	1,462,696	45,860,000	3.2
松川町	171,732	64,110	221,079	456,921	6,000,000	7.6
高森町	168,922	45,453	28,123	242,498	7,015,000	3.5
阿南町	93,402	123,165		216,567	3,473,000	6.2
阿智村	126,308	58,632	60,534	245,474	4,920,000	5.0
平谷村	13,550	6,695	4,816	25,061	860,000	2.9
根羽村	23,201	12,941	8,569	44,711	1,569,000	2.8
下條村	72,172	41,497	254	113,923	2,170,000	5.2
売木村	14,467	14,720	56	29,243	1,152,000	2.5
天龍村	31,988	14,622	15,480	62,090	1,730,000	3.6
泰阜村	35,894	14,957	20,459	71,310	1,890,000	3.8
喬木村	100,222	43,625	14,154	158,001	3,780,000	4.2
豊丘村	105,358	50,797	11,713	167,868	4,430,000	3.8
大鹿村	32,848	17,665	12,419	62,932	1,840,000	3.4
合　　計	1,990,840	713,130	655,325	3,359,295	86,689,000	3.9

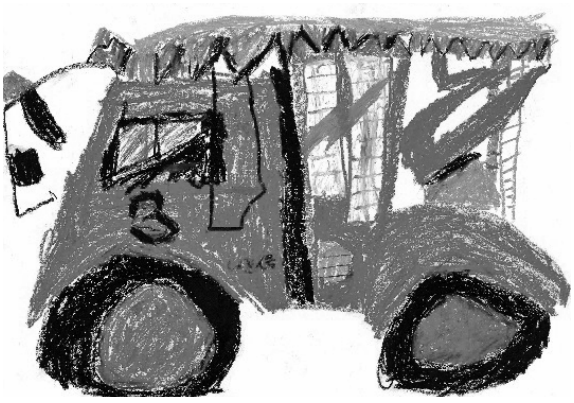
予　　防

第42回消防写生大会の入賞作品

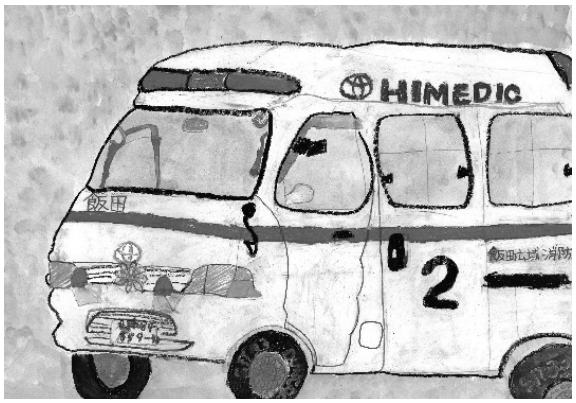
消防長賞



飯田地区幼少年婦人防火委員会長賞

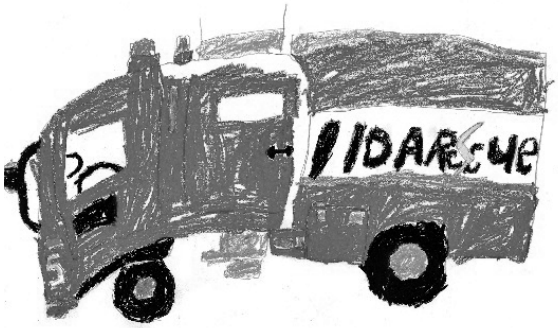


南信州危険物安全協会長賞



飯田地区防火管理者協議会長賞

金　賞



金　賞

平成29年度 防火標語入賞作品

最優秀賞　大丈夫？
たき火したあと　片付けた？

防火対象物の現況

用途区分		市町村別対象物数	飯田市		松川町		高森町		阿南町		阿智村		平谷村	
			甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種
1	イ	劇場・映画館等	10				1							
	ロ	公会堂・集会場	97	86	13	16	19	21	5	2	10	5		1
2	イ	キャバレー等	2	4										
	ロ	遊技場/ダンスホール	19	1	2		2	1						
	ハ	風俗営業等												
	ニ	カラオケボックス等	4											
3	イ	待合・料理店	10	2	1		2							
	ロ	飲食店	50	100	4	6	6	11	2	1	16	9	2	2
4		百貨店・マーケット	147	107	10	13	13	11	5	3	5	7		
5	イ	旅館・ホテル	63	17	6	1	5		3	1	43	6	3	1
	ロ	共同住宅・下宿等	218	796	12	32	8	46	5	15	2	25	1	2
6	イ	病院・診療所等	44	39	1	1	3	4	4	1	1	1		
	ロ	老人福祉施設等	51		9		6		13		7			
	ハ	デイサービス等	84	50	14	14	10	1	11	5	12	4	2	
	ニ	幼稚園・盲学校等	6	1										
7		小・中・高等学校等	142	52	19	8	8	4	15	1	20	7	3	2
8		図書館等	8	12			4		3	1		2		1
9	イ	蒸気・熱気浴場												
	ロ	イ以外の公衆浴場	3	2					1		2			
10		車両の停車場	3	4										
11		神社・寺院等	47	58	3	11	6	6	2	3	1	6		
12	イ	工場・作業場	474	601	85	90	63	84	13	24	36	29	1	1
	ロ	映画スタジオ等												
13	イ	自動車車庫・駐車場	25	29	1	5	1	5				2		1
	ロ	飛行機格納庫												
14		倉庫	169	265	21	58	20	36	2	11	7	9		
15		前各号に該当しない事業所	280	500	26	43	20	43	8	25	31	33	5	15
16	イ	複合用途防火対象物	309	296	24	34	12	19	10	2	19	12	6	2
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	93	342	6	38	2	30	2	1	4	7	1	1
17		重要文化財等	19	1			3	1			2			
18		延長50m以上のアーケード												
合計			2,377	3,365	257	370	214	323	104	96	218	164	24	29

（平成30年3月31日現在）

根羽村		下條村		売木村		天龍村		泰阜村		喬木村		豊丘村		大鹿村		合　計	
甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種
		1										1				13	
1	1	5	5		1	1	7		1	14	8	7	10	2	3	174	167
																2	4
																23	2
																4	
																13	2
	2		1	1	1		1			1	1	1	2		2	83	139
1		2	5							5	2	3	2	1	1	192	151
4		4		2	1	1	1	2	1	1	1	1	1	5	6	143	37
1	5	10	1	1	5	3	2	2	7	4	10	1	7	7	3	275	956
					1			1		1		1				56	47
1		2		1		2		1		4		3				100	
2		2	4	2		3	1	4		8	5	12	2	2		168	86
										2						8	1
5		4	1	2		8		4		8		9	1	5	1	252	77
	1	1			1					2		1	1	1	1	20	20
				2		1										9	2
																3	4
	1	2			1			2	2	4	4	2	1			69	93
2	6	17	8	1	5	7	2	5	5	21	28	40	35	2	5	767	923
	2				2						1	1				28	47
2	6	2	2	1	1				1	1	12	12	25	1	2	238	428
7	9	9	12	3	2	8	7	4	6	27	28	14	25	1	9	443	757
4	1	7	2	4	4	1	1	4	2	9	7	10	2	4	2	423	386
			1	1	1		2	1	1	3	7	5	4	4	2	122	437
1			1						1	1	1				2	26	7
31	34	68	43	21	26	35	24	30	27	116	115	124	118	35	39	3,654	4,773

中高層建物の状況

（平成30年3月31日現在）

階数		3～4階				5～6階				7～8階				9～10階				11～12階				13～14階				合計			
用途区分 ＼ 署別		飯田消防署	伊賀良消防署	高森消防署	阿南消防署	飯田消防署	伊賀良消防署	高森消防署	阿南消防署	飯田消防署	伊賀良消防署	高森消防署	阿南消防署	飯田消防署	伊賀良消防署	高森消防署	阿南消防署	飯田消防署	伊賀良消防署	高森消防署	阿南消防署	飯田消防署	伊賀良消防署	高森消防署	阿南消防署	飯田消防署	伊賀良消防署	高森消防署	阿南消防署
1	イ	2	1	1	1																					2	1	1	1
	ロ	9	3	1	1																					9	3	1	1
2	イ	2																								2			
	ロ	1																								1			
	ハ																												
	ニ																												
3	イ	4																								4			
	ロ	14	1	2																						14	1	2	
4		18	1	3		1																				19	1	3	
5	イ	8	10	8	7	4	8			1	2			1												14	20	8	7
	ロ	166	68	44	25	12	9	1		3												1				182	77	45	25
6	イ	5	5	2	1	5	1		1	1																11	6	2	2
	ロ	2	4	2	1																					2	4	2	1
	ハ	4	1	4	1	1																				5	1	4	1
	ニ	1																								1			
7		29	28	17	18																					29	28	17	18
8		4			1																					4			1
9	イ																												
	ロ																												
10																													
11		1				2																				3			
12	イ	26	31	16	5	3																				29	31	16	5
	ロ																												
13	イ	3																								3			
	ロ																												
14		12	6	3	1	1																				13	6	3	1
15		93	25	10	13	8	1		1																	101	26	10	14
16	イ	175	35	29	10	22	1			2				2												201	36	29	10
	ロ	121	37	19	3	4	2			1																126	39	19	3
17		1																								1			
18																													
合計		701	256	161	88	63	22	1	2	8	2			3								1				776	280	162	90

防火対象物の予防査察実施状況

（平成29年度）

用途区分 ＼ 署別回数			飯田消防署		伊賀良消防署		高森消防署		阿南消防署		合　計	
			防火対象物		防火対象物		防火対象物		防火対象物		防火対象物	
			甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種
1	イ	劇場・映画館等	1		4				1		6	
	ロ	公会堂・集会場	21		12		15		7	7	55	7
2	イ	キャバレー等	1								1	
	ロ	遊技場／ダンスホール	10								10	
	ハ	風俗営業等										
	ニ	カラオケボックス等										
3	イ	待合・料理店	3				1				4	
	ロ	飲食店	7	4	2				5	7	14	11
4		百貨店・マーケット	31		21		8		3	5	63	5
5	イ	旅館・ホテル	5	3	30	2	3	2	13	1	51	8
	ロ	共同住宅・下宿等		1	17		2		13	20	32	21
6	イ	病院・診療所等	13		1		1		1	1	16	1
	ロ	老人福祉施設等	8		20		9		12		49	
	ハ	デイサービス等	15	1	17		10		16		58	1
	ニ	幼稚園・盲学校等	3								3	
7		小・中・高等学校等	4		35		7		15		61	
8		図書館等					1		4	2	5	2
9	イ	蒸気・熱気浴場										
	ロ	イ以外の公衆浴場							4		4	
10		車両の停車場										
11		神社・寺院等	2		4				4	3	10	3
12	イ	工場・作業場	10	2	68	1	16		17	25	111	28
	ロ	映画スタジオ等										
13	イ	自動車車庫・駐車場	5		1				1		7	
	ロ	飛行機格納庫										
14		倉庫	8		19		7	1	2	6	36	7
15		前各号に該当しない事業所	6	1	45		28	1	17	24	96	26
16	イ	複合用途防火対象物	80	11	10	2	9		14	3	113	16
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	3		11		4		2	1	20	1
17		重要文化財等	2	1	4	1	2	8	1	1	9	11
18		延長50m以上のアーケード										
合　計			238	24	321	6	123	12	152	106	834	148

防火対象物の防火管理状況

（平成30年3月31日現在）

用途区分		内訳	防火管理者選任対象物数		防火管理者選任届出数		消防計画届出数	
			甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種
1	イ	劇場・映画館等	7		7		6	
	ロ	公会堂・集会場	162	172	158	151	154	148
2	イ	キャバレー等	1	2	1	1	1	1
	ロ	遊技場・ダンスホール	21	2	20	2	19	2
	ハ	風俗営業等						
	ニ	カラオケボックス等	3		3		3	
3	イ	待合・料理店	11		10		10	
	ロ	飲食店	64	115	62	89	57	80
4		百貨店・マーケット	168	71	157	49	152	48
5	イ	旅館・ホテル	97	4	93	2	91	2
	ロ	共同住宅・下宿等	50	3	39	2	36	3
6	イ	病院・診療所等	23	2	21	2	21	2
	ロ	老人福祉施設等	66		55		54	
	ハ	デイサービス等	114	7	101	5	100	5
	ニ	幼稚園・盲学校等	5		5		5	
7		小・中・高等学校等	77	1	74	1	72	1
8		図書館等	13	11	12	9	11	9
9	イ	蒸気・熱気浴場						
	ロ	イ以外の公衆浴場	5		5		5	
10		車両の停車場						
11		神社・寺院等	56	36	46	34	46	30
12	イ	工場・作業場	114	7	106	6	97	6
	ロ	映画スタジオ等						
13	イ	自動車車庫・駐車場						
	ロ	飛行機格納庫						
14		倉庫	4	1	4	1	4	1
15		前各号に該当しない事業所	132	41	120	36	114	30
16	イ	複合用途防火対象物	294	96	213	72	201	71
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	25	8	19	6	19	5
17		重要文化財等	8		8		8	
18		延長50m以上のアーケード						
合計			1,520	579	1,339	468	1,286	444

防火管理者資格取得講習会実施状況
甲種防火管理者講習受講者数

講習年	受講者数	講習年	受講者数	講習年	受講者数
昭和36年	297	昭和57年	166	平成12年	154
昭和37年	96	昭和58年	136	平成13年	131
昭和38年	74	昭和59年	139	平成14年	188
昭和39年	66	昭和60年	165	平成15年	161
昭和40年	90	昭和61年	162	平成16年	165
昭和41年	71	昭和62年	202	平成17年	179
昭和42年	101	昭和63年	181	平成18年	164
昭和43年	52	平成１年	104	平成19年	153
昭和47年	124	平成２年	176	平成20年	206
昭和48年	158	平成３年	150	平成21年	203
昭和49年	168	平成４年	131	平成22年	198
昭和50年	152	平成５年	150	平成23年	172
昭和51年	119	平成６年	132	平成24年	163
昭和52年	141	平成７年	105	平成25年	198
昭和53年	146	平成８年	178	平成26年	187
昭和54年	285	平成９年	148	平成27年	184
昭和55年	239	平成10年	134	平成28年	169
昭和56年	102	平成11年	150	平成29年	147
甲種受講者合計			8,312		

乙種防火管理者講習受講者数

講習年	受講者数	講習年	受講者数	講習年	受講者数
昭和62年	60	平成９年	23	平成23年	14
昭和63年	85	平成11年	36	平成24年	20
平成１年	57	平成13年	45	平成25年	24
平成２年	44	平成15年	29	平成26年	11
平成３年	38	平成17年	25	平成27年	11
平成４年	40	平成19年	33	平成28年	10
平成５年	37	平成21年	44	平成29年	17
平成７年	36	平成22年	13		
乙種受講者合計			752		

消防同意事務件数

（平成29年度）

用途区分		同意内容	新築	増築	改築	移転	修繕	模様替え	用途変更	その他	合計
1	イ	劇場・映画館等									
	ロ	公会堂・集会場	3	1							4
2	イ	キャバレー等									
	ロ	遊技場・ダンスホール									
	ハ	風俗営業等									
	ニ	カラオケボックス等									
3	イ	待合・料理店									
	ロ	飲食店							1		1
4		百貨店・マーケット	7	2					1		10
5	イ	旅館・ホテル	2	2					2		6
	ロ	共同住宅・下宿等	9								9
6	イ	病院・診療所等	5	1							6
	ロ	老人福祉施設等	3	2							5
	ハ	デイサービス等	5	3					4		12
	ニ	幼稚園・盲学校等		1							1
7		小・中・高等学校等		3							3
8		図書館等									
9	イ	蒸気・熱気浴場									
	ロ	イ以外の公衆浴場									
10		車両の停車場									
11		神社・寺院等		1							1
12	イ	工場・作業場	6	13					1		20
	ロ	映画スタジオ等									
13	イ	自動車車庫・駐車場	4	1							5
	ロ	飛行機格納庫									
14		倉庫	6	7							13
15		前各号に該当しない事業所	23	17	1						41
16	イ	複合用途防火対象物	4	4							8
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	5								5
17		重要文化財等									
18		延長50m以上のアーケード									
一般		専用住宅	65	10					1		76
		併用住宅		1							1
		その他	29	17							46
合計			176	86	1				10		273

危険物施設の状況

（平成30年3月31日現在）

区別＼危険物施設		計	製造所	小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	特定屋外	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	14kℓ超トレーラー	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	一般取扱所	事業所数
検査済証交付施設数		798	3	565	104	54	0	13	248	4	135	15	7	230	142	6	0	82	479
数量別	5倍以下	377		316	55	17		9	121	4	107		3	61	10	2		49	
	5倍を超え10倍以下	164	133	27	10		4	85		3		4	30	11	2		17		
	10倍を超え50倍以下	123	2	69	19	15			34		1			52	37	2		13	
	50倍を超え100倍以下	49		30	1	5			5		19	10		19	17			2	
	100倍を超え150倍以下	30		9	2	1			1		5	5		21	21				
	150倍を超え200倍以下	22		2		1			1					20	19			1	
	200倍を超え1000倍以下	32		5		4			1					27	27				
	1000倍を超えるもの	1		1		1								0					
類別	単独 第1類	1		1	1									0					
	単独 第2類	1		1	1									0					
	単独 第3類	0		0										0					
	単独 第4類	791	3	558	97	54		13	248	4	135	23	7	230	142	6		82	
	単独 第5類	2		2	2									0					
	単独 第6類	0		0										0					
	混在	3		3	3									0					
飯田市		408	1	282	64	29		5	107	2	71	12	4	125	68	6		51	
松川町		73	2	46	9	8		1	20		8			25	16			9	
高森町		72		55	10	3			21		19	11	2	17	13			4	
阿南町		30		21	2	1		1	11		6			9	6			3	
阿智村		69		53	7	1			39	2	4			16	10			6	
平谷村		12		9		1			6		1		1	3	2			1	
根羽村		9		7		1		1	3		2			2	2				
下條村		23		18	3	2		1	9		3			5	3			2	
売木村		10		6					6					4	3			1	
天龍村		11		10				2	7		1			1	1				
泰阜村		18		14	2	1		1	8		2			4	4				
喬木村		33		27	2	6			5		14			6	4			2	
豊丘村		18		10	4	1			4		1			8	5			3	
大鹿村		12		7	1			1	2		3			5	5				
計		798	3	565	104	54	0	13	248	4	135	23	7	230	142	6	0	82	

危険物施設立入実施数

（平成29年度）

危険物施設＼署別	予防課	飯田消防署	伊賀良消防署	高森消防署	阿南消防署	合計
製造所						
屋内貯蔵所		1	5		2	8
屋外貯蔵所						
屋外タンク貯蔵所	1	1				2
屋内タンク貯蔵所					1	1
地下タンク貯蔵所		8	22	4	38	72
簡易タンク貯蔵所						
移動タンク貯蔵所	2					2
給油取扱所	6				2	8
自家用給油取扱所						
第1種販売取扱所						
第2種販売取扱所						
一般取扱所	1	3	7		5	16
合計	10	13	34	4	48	109

各種申請届出書受理件数

（平成29年度）

区分		受理件数	区分	受理件数
危険物製造所等設置変更許可申請	製造所	1	防火対象物使用開始届	172
	貯蔵所	24	火を使用する設備等の設置届	52
	取扱所	12	発電・変電・蓄電設備設置届	72
危険物製造所等完成審査申請	製造所	1	ネオン管灯設備設置届	
	貯蔵所	25	少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱届	101
	取扱所	11	圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届	49
危険物製造所等譲渡引渡届出	製造所		防火管理者選・解任届	330
	貯蔵所	45	消防計画届	378
	取扱所	17	消防設備設置届	521
危険物製造所等廃止届出	製造所		消防用設備点検結果報告	1,955
	貯蔵所	13	防火対象物点検結果報告	116
	取扱所	7	防火対象物権原者変更届	10
水張水圧検査申請書		5	防火対象物特例認定申請等	26
危険物製造所等休止(再開)届			高圧ガス販売施設等の意見書交付申請	
危険物仮貯蔵・仮使用・仮取扱承認願		13	消防法令適合通知書交付申請	17
危険物保安監督者選解任届		38	り災証明申請	38
危険物製造所等品名数量変更届		4		
予防規程認可　変更申請書		2		

警　　防

平成29年長野県消防相互応援隊合同訓練

平成29年11月４日　第１ステージ（受援訓練）

平成29年11月５日　第２ステージ（部隊運用訓練）

消防機械等の現況

(1)　署所別配置状況

（平成30年4月1日現在）

機械等＼署所		本部	飯田消防署 本署	飯田消防署 羽場分署	伊賀良消防署 本署	伊賀良消防署 山本分署	伊賀良消防署 龍江分署	高森消防署 本署	高森消防署 座光寺分署	阿南消防署 本署	阿南消防署 平谷分署	阿南消防署 和田分署	合計
ポンプ車			2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	12
小型ポンプ付積載車								1		1			2
はしご車			1		1								2
化学車			1										1
救助工作車			1							1			2
水槽車								1					1
救急車			2	1	2	1	1	2	1	2	1	1	14
人員輸送車		1								1			2
資機材搬送車			2							1			3
指揮車			1		1			1		1			4
支援車		1											1
査察広報車		3	2	1	2	1	1	2	1	1	1	1	16
一般車	広報車等	4	1										5
	二輪車	1											1
車輌合計		10	13	3	8	3	3	8	3	9	3	3	66
ホース	40㎜									18	10	9	37
	50㎜		120	60	88	69	60	90	60	90	60	60	757
	65㎜		65				32	3		90	7	7	204
化学消火薬剤(㍑)			2,160	100	160	100	100	120	160	280	200	120	3,500
発砲管鎗			11	2	2	1	1	1	1	2	2	2	25
消火原液吸入装置			2	1	1	1	1	1	1		1	1	10
可搬式放水砲			2										2
ファイヤーレンジャー			32	10	25	20	8	15	10	22	7	10	159
空気呼吸器			32	5	13	5	4	11	4	13	5	5	97
空気ボンベ	6.8㍑		19	6	5	6	5	9	6	5	3		64
	8㍑		69	6	12	5	6	20	7	15	11	12	163
	9㍑		4		4								13
	50㍑		6										6
ゴムボート（船外機付）			1							2			3
エアーテント			1		1			1		1			4

⑵　機械性能等（車両関係）

消防ポンプ自動車等　　（平成30年4月1日現在）

所　属	番号	種　別	登録番号	車　名	年　式	総排気量	放水量	規　格	製造メーカー	新規登録年月	緊援隊登録
飯　田	1号	ポンプ車	802 に 1	日野	2014	4.00	2.40	A-2	モリタ	H27.2	○
飯　田	2号	化学車	800 の 2	日野	2015	6.40	2.32	A-2	モリタ	H27.8	○
飯　田	3号	はしご車(35m)	830そ119	日野	2000	20.78	-	-	モリタ	H12.1	○
飯　田	5号	救助工作車	831ぬ119	日野	2005	7.41	-	-	テイセン	H18. 1	○
飯　田	7号	ポンプ車	88す2067	いすゞ	1995	4.57	2.15	A-2	日本ドライケミカル	H7.12	
羽　場	11号	ポンプ車	830 て 11	日野	2014	4.00	2.39	A-2	モリタ	H27.2	○
伊賀良	21号	ポンプ車	800さ4857	三菱	2002	5.24	2.08	A-2	日本ドライケミカル	H14.12	
伊賀良	22号	ポンプ車	88す3291	いすゞ	1997	4.57	2.37	A-2	日本ドライケミカル	H9.1	
伊賀良	23号	はしご車(15m)	88さ6738	日野	1989	6.72	2.48	A-2	モリタ	H1.2	
山　本	31号	ポンプ車	830 せ 31	トヨタ	2009	4.00	2.22	A-2	モリタ	H21.10	○
龍　江	41号	ポンプ車	830 さ 41	トヨタ	2009	4.00	2.26	A-2	日本ドライケミカル	H21.10	○
高　森	51号	ポンプ車	830 さ 51	トヨタ	2009	4.00	2.12	A-2	日本ドライケミカル	H21.10	○
高　森	52号	積載車	88さ9771	日産	1993	2.66	1.20	B-2	シバウラ	H5.3	
高　森	53号	水槽車（5t）	800は176	三菱	2001	8.20	1.20	B-2	シバウラ	H13.11	
座光寺	61号	ポンプ車	831て119	三菱	2005	4.89	2.08	A-2	モリタ	H17.8	
阿　南	71号	ポンプ車	830ゆ119	三菱	2002	5.24	2.07	A-2	モリタ	H14.12	
阿　南	72号	積載車	88す4388	トヨタ	2002	2.77	1.26	B-3	シバウラ	H9.12	
阿　南	75号	救助工作車	831め119	いすゞ	2007	7.16	-	-	モリタ	H19.3	
平　谷	81号	ポンプ車	831す119	三菱	2003	3.56	2.07	A-2	モリタ	H15.11	
和　田	91号	ポンプ車	831た119	日野	2004	4.00	2.07	A-2	モリタ	H16.10	

指揮車

所属登録	番号	種　別	登録番号	車名		年式	総排気量	用途	定員（人）	新規登録年月	緊援隊
飯　田	指揮1号	指揮車	800す144	ニッサン	バネット	2009	1.99	指揮	6	H21.9	
伊賀良	指揮2号	指揮車	800す143	ニッサン	バネット	2009	1.99	指揮	6	H21.9	
高　森	指揮5号	指揮車	830せ2902	トヨタ	レジアスエース	2017	2.69	指揮	6	H29.2	
阿　南	指揮7号	指揮車	88す3153	トヨタ	ランドクルーザー	1996	4.16	指揮	5	H8.11	

支援車

所属	番号	種　別	登録番号	車名		年式	総排気量	用途	定員（人）	新規登録年月	緊援隊登録
警　防	支援1号	支援車	800す2124	日産	キャラバン	2013	2.48	支援	8	H25.10	○

人員輸送車

所属	番号	種　別	登録番号	車名		年式	総排気量	用途	定員（人）	新規登録年月	緊援隊登録
阿　南	76号	人員輸送車	88す5801	トヨタ	ハイエース	1998	2.98	広報	10	H10.12	
警　防	102号	人員輸送車	800さ4454	トヨタ	ハイエース	2002	2.98	広報	10	H14.8	○

資機材搬送車

所属	番号	種　別	登録番号	車名		年式	総排気量	用途	定員（人）	新規登録年月	緊援隊登録
飯　田	6号	資機材搬送車	88す4084	いすゞ	エルフ	1997	4.57	資機材搬送	3	H9.9	○
飯　田	106号	資機材搬送車	88す3152	トヨタ	ランドクルーザー	1996	4.16	資機材搬送	5	H8.11	
阿　南	77号	資機材搬送車	800さ2565	トヨタ	ダイナ	2001	2.98	資機材搬送	3	H13.2	

救急自動車

所属	番号	種別	登録番号	車名		年式	総排気量	用途	定員（人）	新規登録年月	緊援隊登録
飯田	1号	救急自動車	831む 119	トヨタ	ハイメディック	2007	2.69	救急	7	H19.1	
飯田	2号	救急自動車	88 す5944	トヨタ	ハイメディック	1999	3.37	非常用	7	H11.2	
羽場	11号	救急自動車	830せ2011	トヨタ	ハイメディック	2011	2.69	救急	7	H23.7	
伊賀良	2号	救急自動車	830す2011	トヨタ	ハイメディック	2011	2.69	救急	7	H23.2	○
伊賀良	21号	救急自動車	830は 119	トヨタ	アンビュランス	2000	3.37	非常用	7	H12.10	
山本	3号	救急自動車	830さ2902	トヨタ	ハイメディック	2017	2.69	救急	7	H29.2	○
龍江	4号	救急自動車	830す2018	トヨタ	ハイメディック	2018	2.69	救急	7	H30.2	
高森	5号	救急自動車	831ら 119	トヨタ	ハイメディック	2008	2.69	救急	7	H20.2	
高森	51号	救急自動車	830ら 119	トヨタ	アンビュランス	2002	3.37	非常用	7	H14.12	
座光寺	6号	救急自動車	830す2801	トヨタ	ハイメディック	2015	2.69	救急	7	H28.1	○
阿南	7号	救急自動車	830す 780	ニッサン	パラメディック	2010	3.49	救急	7	H22.12	
阿南	10号	救急自動車	831そ 119	トヨタ	アンビュランス	2004	3.37	非常用	7	H16.2	
平谷	8号	救急自動車	830さ2801	トヨタ	ハイメディック	2015	2.69	救急	7	H28.1	
和田	9号	救急自動車	830す2902	トヨタ	ハイメディック	2017	2.69	救急	7	H29.2	

査察広報車等

所属	番号	種別	登録番号	車名		年式	総排気量	用途	定員（人）	新規登録年月	緊援隊登録
飯田	107号	査察広報車	88 は5319	ニッサン	ADバン	1996	1.49	広報	5	H8.3	
飯田	109号	査察広報車	880あ 583	スズキ	エブリイ	2010	0.65	広報	4	H22.6	
羽場	111号	査察広報車	880あ1047	スズキ	エブリイ	2014	0.65	広報	4	H26.9	
伊賀良	121号	査察広報車	88 は5413	ニッサン	ADバン	1996	1.49	広報	5	H8.7	
伊賀良	122号	査察広報車	80 あ 492	ホンダ	アクティ	1991	0.65	広報	4	H3.10	
山本	131号	査察広報車	800さ3526	スズキ	スイフト	2001	1.32	広報	5	H13.10	
龍江	141号	査察広報車	800さ5537	トヨタ	プロボックス	2003	1.49	広報	5	H15.7	
高森	151号	査察広報車	800さ1458	ニッサン	ADバン	2000	1.76	広報	5	H12.5	
高森	152号	査察広報車	88 す5751	ニッサン	テラノ	1998	3.15	広報	5	H10.12	
座光寺	161号	査察広報車	800さ3027	スズキ	スイフト	2001	1.32	広報	5	H13.6	
阿南	171号	査察広報車	80 あ1472	三菱	ミニキャブ	2002	0.66	広報	4	H14.3	
平谷	86号	査察広報車	800す4080	トヨタ	プロボックス	2018	1.49	広報	5	H30.3	
和田	96号	査察広報車	800さ1851	スバル	フォレスター	2000	1.99	広報	5	H12.8	
予防	101号	査察広報車	800さ2454	ニッサン	ADバン	2001	1.76	広報	5	H13.1	
予防	103号	査察広報車	800さ8411	スズキ	ソリオ	2006	1.32	広報	5	H18.9	
警防	104号	査察広報車	800さ6878	トヨタ	プリウス	2004	1.50	広報	5	H16.12	
総務	100号	連絡車	300そ6684	トヨタ	マークⅡ	2001	1.98	連絡	5	H13.5	
総務	170号	連絡車	500な3079	トヨタ	プレミオ	2002	1.79	連絡	5	H14.2	
総務	防火号	広報車	88 す 3	トヨタ	ハイエース	1993	1.99	広報	8	H5.7	
総務	コムス	連絡車	飯田市 36	トヨタ	コムス	2014	0.05	連絡	1	H26.6	
飯田		救急普及啓発	800す 233	ニッサン	シビリアン	2009	4.47	広報	7	H21.11	

特殊災害等対応資機材配置状況

（平成30年4月1日現在）

種類	資器材	用途	飯田消防署	羽場分署	伊賀良消防署	山本分署	龍江分署	高森消防署	座光寺分署	阿南消防署	平谷分署	和田分署	合計
防護服	陽圧式化学防護服	レベルA用	5										5
	放射線防護服	RI用	3										3
	化学防護服	レベルB用	10	3	5	3	3	5	3	5	3	3	43
	簡易型防護服（密閉型防護服）	レベルC用	11	3	6	3	3	6	3	6	3	3	47
	防護手袋	中低濃度酸・アルカリ	21	3	5	3	3	5	3	5	3	3	54
		有機溶剤用											
	防護長靴	ゴム半長靴	9										9
マスク	防毒マスク	全面マスク	13		3			3		3			22
	防塵マスク	半面マスク	13	4	8	4		8	4	5			46
測定機器	検知管式ガス測定器	メタノール	2										2
		アセトン											
		酢酸エチル											
		アンモニア											
		シアン化水素											
		塩化水素											
		塩素											
	複合ガス検知器	一酸化炭素	3		1			1		2	1※	1※	9
		酸素											
		可燃性ガス											
		硫化水素											
	可燃性ガス測定器	LPG	1	1		1	1	1	1				6
		ガソリン他											
	放射線測定器	放射線	16		1			1		1			19
その他	化学剤検知紙	びらん剤	10										10
		神経剤											
	除染シャワー（一式）		1										1
	除染剤散布器		2										2

※火山ガス検知器（硫化水素、二酸化硫黄）

地 震 対 策

昭和51年８月23日　石橋克彦（東大助手）氏の駿河湾巨大地震を予測する研究。同年10月４日参議院予算委員会での浅田敏（東大教授）氏の意見により、地震予知が社会生活に直接係わりのある問題となり、防火対策に地震災害を盛り込み、地震による被害の軽減を考えて積極的に取組むこととなる。

昭和52年９月29日　住宅耐震診断の実施（協力：長野県建築設計事務所協会等）
市街地：45棟　その他地区：７棟　計：52棟

昭和53年３月12日　昭和52年５月から東海地震による飯田地方の被害想定をまとめる。

昭和53年３月11日～４月７日　第１回地震体験車巡回　49箇所：2,431名

昭和53年４月１日　消防本部機構に警防課警防係を新設し、地震対策も分掌事務とした。

昭和53年６月10日　飯田地方の地震と防災１（東海地震の予察的被害想定）刊行

昭和53年６月15日　大規模地震対策特別措置法（法律73号）成立（同年12月14日施行）

昭和54年８月７日　東海地震に係る地震防災対策強化地域に、管内１市４町３村（飯田市・鼎町・上郷町・松川町・高森町・阿智村・喬木村・豊丘村）が指定される。
自主防災組織推進要綱案を作成し、推進活動を開始する。

昭和54年11月16日　強化地域一斉に、国、県、市町村及び防災関係機関が行う地震対策訓練に参加。これを機に、消防訓練に地震対策訓練を盛り込む。

昭和55年１月24日　地震防災応急計画及び地震防災規程及び消防計画の変更届の受理開始

昭和55年２月20日　第２回地震体験車巡回　37箇所：2,747名

昭和55年３月31日　消防計画に地震警防計画を策定

昭和55年４月24日　春の火災予防運動に行った地震防災意識アンケート調査の発表

昭和55年９月１日　強化地域一斉地震防災総合訓練に参加

昭和55年10月15日　飯田地方の地震と防災２（地盤建物の振動特性と地震災害）刊行

昭和55年10月24日　飯田市・鼎町・上郷町における大地震被害予測第１次調査書（震度推定）

昭和56年３月15日　飯田市・鼎町・上郷町における大地震被害予測第２次調査書（被害率・出火率）

昭和56年３月24日　第３回地震体験車巡回　30箇所：881名

昭和56年７月30日　広域加入７町村の東海地震による被害想定追求開始、70地点の振動特性調査及びその他資料の収集。

昭和56年９月１日　長野県地震総合防災訓練参加

昭和56年９月22日　第４回地震体験車巡回　24箇所：1,522名

昭和57年２月25日　飯田商工会議所建設委員会及び長野県建設業協会飯田支部と共催して耐震診断を実施。15箇所の建築物及び地盤の調査を行う。

昭和57年４月30日　70地点の振動特性調査まとまる。

昭和57年９月１日　長野県地震総合防災訓練（飯田市）

昭和57年10月23日　第５回地震体験車巡回　22箇所：1,063名

昭和57年11月20日　管内10市町村の東海地震による被害予測結果がまとまる。

昭和58年２月14日　自主防災リーダー巡回講習会　15箇所：695名
昭和58年３月31日　地震の実情を考慮した震災対策を、消防計画全14章に反映して策定
昭和58年９月１日　長野県地震総合防災訓練参加
昭和59年１月31日　飯田地方の地震と防災３（東海大地震による被害予測）刊行
昭和59年９月１日　長野県地震総合防災訓練（鼎町）
昭和59年９月14日　長野県西部地震発生　午前８時49分　　震源地：木曽郡御岳山付近
マグニチュード：6.8　　震度：震源地６（飯田４）
死者・行方不明者：29人　重軽傷者：10人　被害総額：246億264万円
昭和59年10月24日　長野県西部地震に関するアンケート調査、管内小中学校ＰＴＡ対象に実施
昭和60年９月１日　長野県地震総合防災訓練（上郷町）
昭和60年10月４日　「防災科学技術講演会」国立防災科学技術センター所長　高橋博氏他
昭和61年９月１日　長野県地震総合防災訓練に参加
昭和62年３月18日　くらしの科学講座「地震の知識と心がまえ」信州大学工学部教授島坦氏
昭和62年３月　　長野県地震対策基礎調査（２箇年計画）まとまる。
昭和62年９月１日　長野県地震総合防災訓練に参加
昭和63年３月 3日　くらしの科学講座「地震の知識と心がまえ」気象庁地震観測所長大地氏
昭和63年７月18日　自主防災リーダー巡回講習会　18箇所：957名
昭和63年９月１日　長野県地震総合防災訓練（松川町）
平成元年７月21日　自主防災リーダー巡回講習会　15箇所：742名
平成元年９月１日　長野県地震総合防災訓練（高森町）
平成２年７月11日　自主防災リーダー巡回講習会　17箇所：900名
平成２年９月１日　長野県地震総合防災訓練（阿南町）
平成３年７月８日　自主防災リーダー巡回講習会　17箇所：1,500名
平成３年９月１日　長野県地震総合防災訓練（豊丘村）
平成４年６月22日　自主防災リーダー巡回講習会　17箇所：1,016名
平成４年９月１日　長野県地震総合防災訓練に参加
平成５年６月１日　長野県地震総合防災訓練（飯田市）
平成５年７月９日　自主防災リーダー巡回講習会　18箇所：963名
平成５年９月１日　長野県地震総合防災訓練（喬木村）
平成６年６月27日　自主防災リーダー巡回講習会　17箇所：1,320名
平成６年９月１日　長野県地震総合防災訓練（阿智村）
平成７年１月17日　阪神淡路大震災　５時46分
マグニチュード：7.3　　飯田市震度：３
平成７年５月22日　講演「阪神淡路大震災に学ぶ - 市民、地域、行政はいかに備えるか - 」
講師：ＮＨＫ解説委員　吉村秀實氏　飯田文化会館：800名
平成７年９月１日　長野県地震総合防災訓練（下條村）
平成７年９月29日　講演「阪神淡路大震災に学ぶ - 大震災から地域をまとめて激闘の250日間」
講師：神戸市長田区真陽町ふれあいまちづくり協議会
会長：正賀　伸氏　　消防団：正賀雅昭氏　　４会場：486名

平成８年２月19日　講演「自主防災活動は、地域ぐるみの協力と日頃の備えから」
講師：神戸市長田消防署消防司令長　中谷範乃氏
飯田市人形劇場：　200名
平成８年９月１日　長野県地震総合防災訓練（天龍村）
平成９年９月１日　長野県地震総合防災訓練（泰阜村）
平成９年11月20日　講演「地域の危機管理を考える　－島原の教訓に学ぶ－」
講師：前長崎県島原市長　鐘ケ江管一氏　シルクホテル：300名
平成10年９月１日　長野県地震総合防災訓練（南信濃村）
平成11年１月20日　講演「地域コミュニティーと学校」
講師：「神戸市長田区ふれあい防災」会長　正賀　伸氏
松尾公民館：200名
平成11年９月１日　長野県地震総合防災訓練参加
平成12年９月１日　長野県地震総合防災訓練（飯田市：天竜川川路提外地）
平成13年９月１日　長野県地震総合防災訓練（松川町）
平成14年４月24日　東海地震に係る地震防災対策強化地域として、大鹿村、上村が新たに内閣総理大臣から指定、公示される。
平成15年５月29日　中央防災審議会から「東海地震対策大綱」が発表となる。
平成15年７月28日　東海地震の地震防災対策強化地域に係る地震防災基本計画の一部が修正され、同日気象庁から「東海地震に関する新しい情報について」が示され、平成16年１月５日から運用開始となる。
平成16年９月１日　長野県地震総合防災訓練参加
平成22年２月17日　南信州広域連合防災危機管理研修を開催。
14市町村長をはじめ防災担当者、職員など90名が参加し、総務省消防庁応急対策室課長補佐の講演、図上シミュレーション訓練の研修など当地域における受援体制の確立に向けた取組みを行う。
平成23年３月11日　東日本大震災　14時46分
マグニチュード：9.0　　最大震度：７
宮城県牡鹿半島の東南東沖 130kmの海底を震源とした東北地方太平洋沖地震が発生する。
飯田消防から緊急消防援助隊を３月11日から４月３日までの延べ24日間、19隊76名を宮城県多賀城市、塩竈市、名取市及び七ヶ浜町に派遣し救助・捜索活動を行う。
平成24年度にはその報告会を自主防災会員や消防団員、防災関係者に45回(約 3,500名)行い、大規模地震に対する備え等の防災啓発活動を実施。
平成22年２月17日に当地域における受援体制の確立に向け取り組んだ広域的大規模災害を想定した図上型シミュレーション訓練を構成市町村１町５村の管理職、防災担当者など91名の職員対象に実施した。

平成24年３月31日　南海トラフの巨大地震（東海、東南海、南海）について、内閣府に平成23年８月に設置した「南海トラフの巨大地震モデル検討会」において科学的知見に基づき、南海トラフの巨大地震対策を検討する際に想定すべき最大クラスの地震の検討を進め、震度分布の推計結果を示した。

（推計規模　マグニュード：9.0　　長野県南部　震度：６弱）

平成25年５月28日　内閣府は、南海トラフ巨大地震対策について最終報告を公表した。

南海トラフ沿いで発生する巨大地震の被害予想は広域にわたり甚大であることから、予防対策、応急対策、復旧・復興対策等各分野の事前の備えを進めることが重要である。

平成26年11月22日　神城断層地震発生　22時08分　長野県北部（北緯36.7度、東経137.9度）

マグニチュード：6.7　最大震度：６弱 震源の深さ：５㎞

平成26年11月23日　長野県消防相互応援協定に基づき指揮隊・救助隊・後方支援隊（計10名）を派遣する。

（平成26年11月23日午前２時30分から午後６時まで）

緊急消防援助隊（６都県隊）　22隊97名を派遣

平成27年３月　長野県では、平成25年度から平成26年度にかけて従来の地震想定を見直し、南海トラフ巨大地震や新たに評価が行われた県内の活断層を想定地震として追加するとともに、孤立集落の発生や災害時要配慮者の被災といった東日本大震災以降に明らかになった災害対応上の課題となる項目についても想定を行い、地震被害想定調査報告書により結果を発表した。

被 害 想 定

長野県では、平成25年度から26年度にかけて従来の地震被害想定を見直し、南海トラフ巨大地震や新たに評価が行われた県内の活断層を想定地震として追加するとともに、孤立集落の発生や災害時要配慮者の被災といった東日本大震災以降に明らかになった災害対応上の課題となる項目についても想定を行った。

平成26年の長野県神城断層地震のような県内の活断層による地震に備えるとともに、平成23年の東北地方太平洋沖地震のようなこれまで想定していなかった場所・規模の地震や、将来起こりうると言われている南海トラフの巨大地震に備えるため、県、市町村、地域の防災対策の基礎資料となる実践的な新たな被害想定を策定した。

1　内陸型地震と海溝型地震（基本ケース、陸型ケース）

2　３種類のシーン（季節・時刻）を設定し、風速を各地域の観測所における平均と最大を設定した。

①冬・深夜　・多くが自宅で就寝中で被災するため、家屋倒壊による死者が発生する危険性が高い。
・オフィスや繁華街の滞留者や、鉄道・道路利用者が少ない。

②夏・昼12時　・オフィスや繁華街等に多数の滞在者が集中しており、自宅外で被災する場合が多い。
・木造建物内滞留人口は、1日の中で少ない時間帯であり、老朽木造住宅の倒壊による死者数は、「冬・深夜」比較して少ない。

③冬・夕18時　・住宅、飲食店などで火気使用が最も多い時間帯で、出火件数が最も多くなる。
・オフィスや繁華街周辺のほか、ターミナル駅にも滞留者が多数存在する。
・鉄道、道路もほぼ帰宅ラッシュ時に近い状況でもあり、交通被害による人的被害や交通機能障害による影響が大きい。

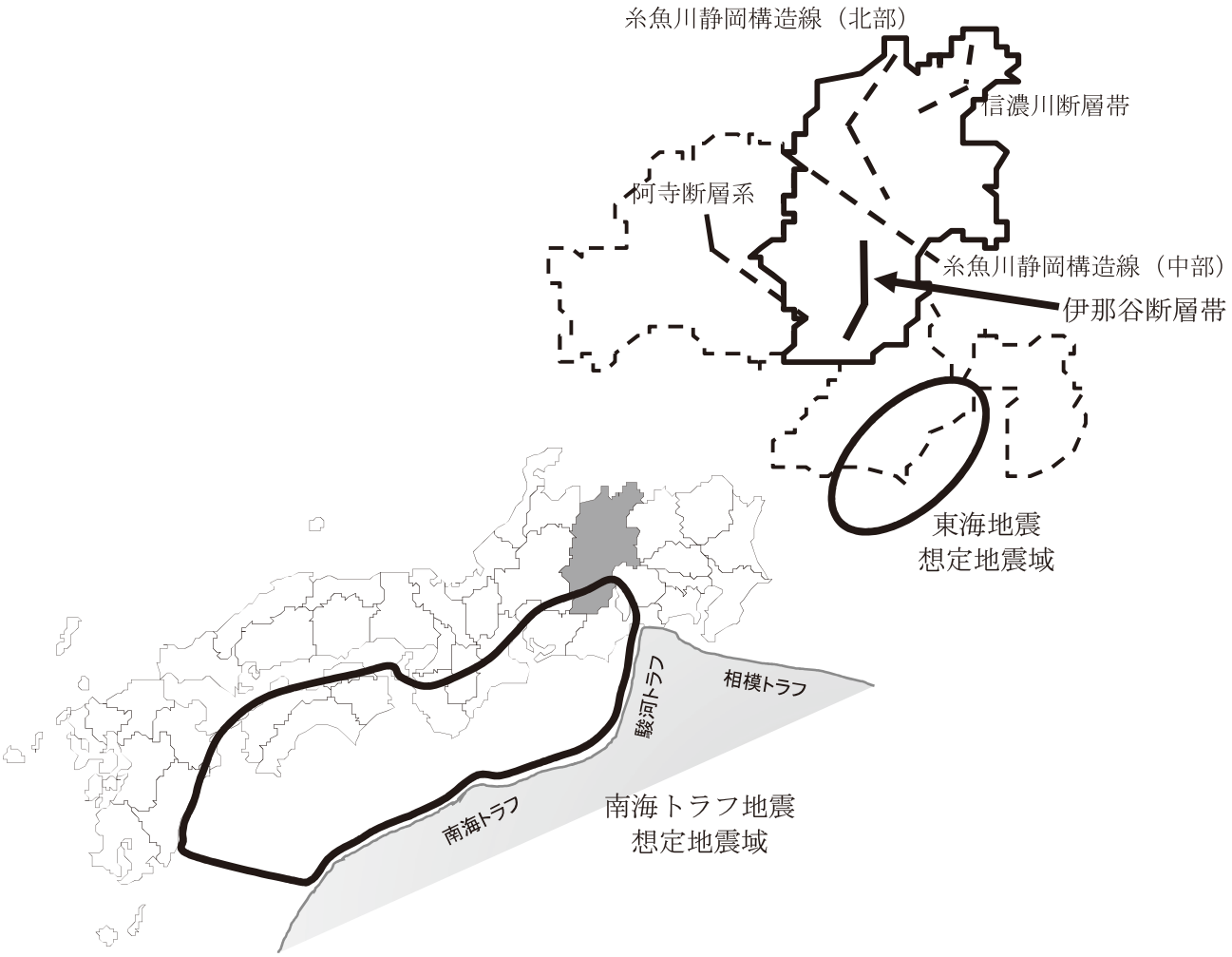
※長野県地震被害想定調査報告書から引用（平成27年３月）

飯田広域消防管内の被害想定（最大被害）		内陸型		海溝型			
		伊那谷断層帯	想定シーン	東海地震	南海トラフ巨大地震		想定シーン
					基本ケース	陸側ケース	
最大震度		7		6弱	6強	6強	
建物被害(棟)	合計:全壊(棟)	4,170	冬・18時 強風	20	20	1,290	冬・18時 強風時
	合計:半壊(棟)	14,300		210	420	10,560	
人的被害	死者数(人)	210	夏・12時 強風	0	0	60	冬・深夜 強風
	負傷者数(人)	2,590		30	80	2,050	
	重傷者数(人)	1,380		10	30	1,110	
	自力脱出困難者数(人)	720		わずか	わずか	130	
避難者数	被災1日後(人)	9,110	冬・18時 強風	90	130	3,880	冬・18時 強風
	被災2日後(人)	32,700		1,640	3,420	23,570	
	被災1週間後(人)	24,470		810	1,680	15,690	
	被災1ヶ月後(人)	19,020		100	240	9,590	
ライフライン	上水道断水人口(人)	146,210	被災直後	52,740	71,890	144,980	被災直後
	下水道支障人数(人)	123,960		47,160	61,560	118,500	
	都市ガス供給停止(戸)	2,490		0	0	0	
	電力停電棟数(棟)	66,650		24,200	31,970	66,550	
物　資（1日後）	食料量(食)	14,270	冬・18時 強風	33,730	33,630	25,560	冬・18時 強風
	飲料水量(L)	−314,710		−290	−29,040	−261,030	
	毛布量(枚)	970		11,790	11,730	7,260	

※数値にあっては、上記3種類のシーンの中で最大被害数値　※人的被害は、観光客を考慮

※都市ガス供給停止戸数については、飯田市のみの数値　※長野県地震被害想定調査報告書から引用(平成27年3月)

長野県の断層帯と南海トラフ



伊那谷断層帯

辰野町から阿南町にかけての伊那谷西縁部および伊那谷平野部内に、南北もしくは北東-南西方向の多数の断層群がみられます。これらは伊那谷断層帯と呼ばれ、活動度はA～B級です。

東海地震

太平洋側では、フィリピン海プレートが駿河トラフや南海トラフから日本列島側に沈み込んでいて、このプレート境界では、これまで1605年慶長地震（M7.9）、1707年宝永地震（M8.4）、1854年安政東海地震（M8.4）、1944年東南海地震（M8.0）など、100～150年周期で大規模な地震が発生しています。

南海トラフ地震

南海トラフとは、駿河湾から遠州灘、熊野灘、紀伊半島の南側の海域及び土佐湾を経て日向灘沖までのフィリピン海プレート及びユーラシアプレートが接する海底の溝状の地形を形成する区域である。

南海トラフ沿いの地域では、ここを震源域として100年から150年間隔で大規模地震が繰り返し発生しており、近年では、昭和19年（1994年）に昭和東南海地震、昭和21年（1946年）に昭和南海地震が発生している。東海地震の領域は、発生から160年が経過しており、切迫性が指摘され、また、東南海・南海地震については前回地震から、既に60年以上が経過していることから、今世紀後半にも発生することが懸念されている。

※「長野県地震対策基礎調査事業」及び「平成26年度消防白書」から引用

通信指令

火災をはじめとする各種災害に対する消防、防災活動を遂行するためには、迅速かつ的確な災害情報の収集、伝達体制が必要不可欠です。

飯田広域消防本部では、平成24・25年度に消防救急デジタル無線の整備に併せ、高機能消防指令システムを整備しました。

通信指令設備状況

平成30年4月1日現在

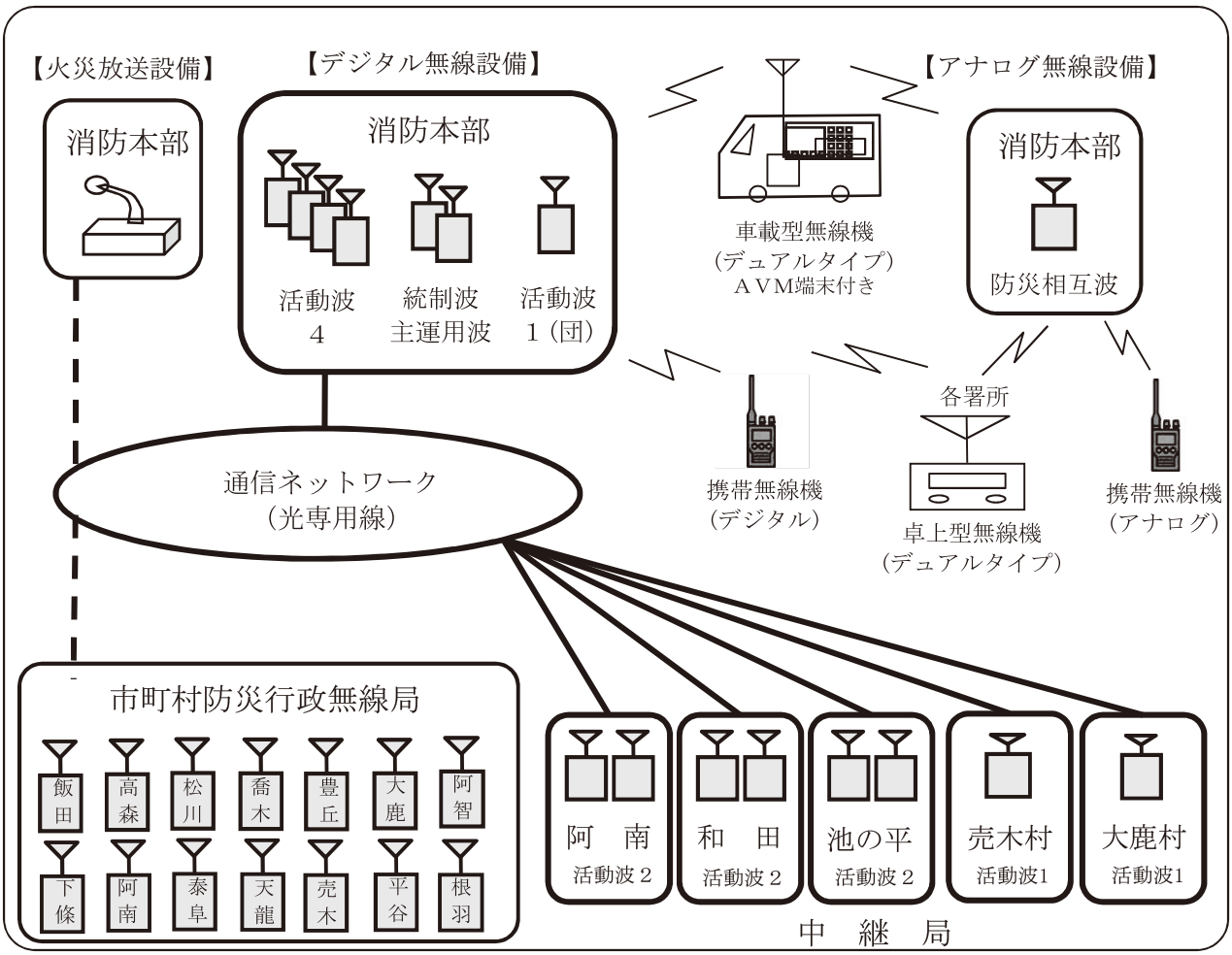
施設区分	数量	概　　要	備　考
指令台	3	119番通報等災害受付（大規模災害時拡張台3⇒5）	
指揮台	1	119番通報等災害受付、指揮統制	
統合型位置情報通知装置	1	119番通報時に災害点位置検索	
119番回線手動受付装置	6	非常時の119番受付	
自動出動指定装置	1	出動編成・活動状況管理・事案管理	
指令制御装置	1	119・加入・専用線・指令無線統制	二重化
気象観測装置	1	気温・湿度・雨量・気圧・風向・風速の観測、記録	
駆け込み通報装置	10	駆け込んだ署の不在時における、指令室への通報装置	
メール119受信装置	1	「Eメール」での緊急通報の受信	
FAX119受信装置	1	「FAX」での緊急通報の受信	
音声合成装置	1	指令内容を音声合成装置にて各署に伝達	
指令伝達装置	1	出動指令、「指令書」の伝送	
署所端末装置	10	出動指令、「指令書」の受信	
システム監視装置	1	システムの運用状況を監視	24時間
長時間録音装置	1	指令台・指揮台の通話・無線交信内容を録音	24時間
指令台連動メール配信システム	1	災害情報を消防職員・消防団員等へメール送信	登録者のみ
火災放送設備	1	市町村防災行政無線局を利用した火災放送	14市町村
緊急情報ネットワーク			
システム（Em-Net）	1	国と緊急情報を双方向通信するためのシステム	
全国瞬時警報システム			
装置（Jアラート）	1	緊急情報が国から送信された際の情報を受信	

指 令 系 設 備

高機能消防指令システム

- ○　指令受付　４席（指揮台１）
- ○　自動出動指定装置
- ○　地図検索装置
- ○　支援情報端末装置
- ○　メール119受信装置
- ○　FAX119受信装置
- ○　位置情報通知システム
- ○　指令連動メール配信システム
- ○　気象観測装置
- ○　多目的情報表示板
- ○　車両動態（AVM)装置
- ○　高速道路表示板

無 線 系 設 備



消防通信施設の現況

（平成30年4月1日現在）

無線関係施設								
デジタル無線設備							アナログ無線設備	
種別	基地局名	局数	空中線電力(W)	活動波	統制波	主運用波	局数	周波数
基地局(6)	消防本部	1	20	4＋(1)	3(切替方式)	1	基地局(2)	防災相互波(消防本部)(飯田市役所りんご庁舎)
	阿南消防署	1	20	2＋(1)				
	和田分署	1	20	2＋(1)				
	大鹿村	1	20	1				
	売木村	1	20	1				
	池の平	1	10	2				

注(1)＝消防団活用(飯田市)

種別	設　備	所有数	空中線電力(W)	活動波	統制波	主運用波	アナログ無線設備
移動局	卓上型無線装置(デュアル型)※	10	5	5	3	7	5機(防災相互波のみ)
	車載無線機(デュアル型)※	60	5	5	3	7	
	携帯無線機	54	1	5	3	7	6機(防災相互波のみ)

※＝デュアル型は防災相互波搭載

種別	設　備	所有数	空中線電力(W)	活動波	統制波	主運用波	備　考
固定局(デジタル)	消防本部	1	20	1			恵那山トンネル基地局との連絡用固定局
	恵那山トンネル(NEXCO中日本の設備)	1	5	1			

IP無線設備							備　考
種　別	卓上型無線機	1	携帯型無線機	15			消防本部、消防署、分署

各種回線設置状況			
	回線種別	回線数等	備　　考
緊急通報専用回線	固定電話NTT	4回線	各地区接続数：最大2 (飯田地区及び高森・豊丘地区は最大4)
	固定電話IP	4回線	4社(各社接続数：最大2)
	携帯電話	4回線	携帯電話専用回線
	衛星電話	1回線	
	FAX119	1基	消防本部
	メール119	1基	消防本部
	駆け込み電話	10基	消防署(4)、分署(6)
	福祉電話	1回線	消防本部
一般加入電話	NTT電話	17回線	消防本部(6)、消防署(5)、分署(6)
	携帯電話	20回線	消防本部(2)、消防署(4)、救急車(14)
	衛星携帯電話	5基	消防本部(1)、消防署(4)
その他	FAX	12回線	消防本部(2)、消防署(4)、分署(6)
	専用電話	5回線	飯田市内線(3)、NEXCO中日本(1)、中部電力(1)
	防災行政無線	1回線	長野県衛星系(平成27年度更新)
	iPad	5回線	消防本部(1)、消防署(4)
	VSAT	2回線	音声用、映像送信用

統　　計

火　災

救　急

救　助

その他

春の火災予防運動
人　波　作　戦

火　災

月別火災発生状況

区分 / 月	発生件数(件)							建物焼損棟数(棟)					焼損面積(㎡)		
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計	床面積	表面積	林野(a)
1月	2		1			1	4		1	1		2	27		
2月	4					5	9	2		3		5	181	43	
3月	4	1				12	17	5			2	7	686		10
4月	4					3	7	5		2	1	8	809	3	
5月	3	1	1			6	11	8	1		1	10	595		238
6月	4	1	1			3	9	7		3		10	915	8	4
7月			1				1						-		
8月													-		
9月	1		1				2				1	1	-		
10月	1						1				1	1	-		
11月	4						4			2	2	4	4	1	
12月	6	1				1	8	2		1	3	6	195	3	1
合計	33	4	5			31	73	29	2	12	11	54	3,412	58	253

区分 / 月	死傷者(人)			り災人員	り災世帯(世帯)				損害額(千円)							
	死者	傷者	30日		全損	半損	小損	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発	合計
1月				2			1	1	626		100					726
2月				4	1		1	2	4,718							4,718
3月	1	1		2	2			2	33,087					36		33,123
4月		2		11	2		1	3	23,201		170					23,371
5月		2		1	1			1	5,257		60					5,317
6月		3		12	3		2	5	21,880					338		22,218
7月											100					100
8月																
9月											281					281
10月				2			1	1	2							2
11月		2		4			2	2	1,337							1,337
12月	1	2		10	1		2	3	21,570							21,570
合計	2	12		48	10		10	20	111,678		711			374		112,763

市町村別月別火災発生件数

（平成29年）

市町村	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
飯田市	2	5	8	4	4	4			1	1	1	5	35	18	3	2			12
松川町			3		1								4	1					3
高森町		1	1										2						2
阿南町		1	1	1		1						1	5	2					3
阿智村			1	1	3	3					2	1	11	4	1				6
平谷村			1										1						1
根羽村																			
下條村		1			1		1		1				4	1		2			1
売木村		1											1	1					
天龍村	1											1	2	1					1
泰阜村			1		1	1							3	2					1
喬木村																			
豊丘村	1										1		2	1		1			
大鹿村			1	1	1								3	2					1
合計	4	9	17	7	11	9	1		2	1	4	8	73	33	4	5			31
平年27年	10	5	13	8	10	7	4	5	3	5	1	7	78	45	5	6			22
平年28年	11	8	18	5	5	4	5	9	2	1	4	4	76	32	12	4			28

過去最高火災発生件数と最近５年間の発生状況

年＼月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	損害額（千円）
各月最高件数		21	20	29	33	15	10	12	17	13	9	13	23								
年間最高件数（平成７年）		11	19	20	16	5	6	12	17	8	3	5	21	143	49	38	6			50	502,301
最近5年間の状況	平成25年	9	9	26	16	15	10	1	17	3	8	2	4	120	47	13	15			45	174,121
	平成26年	9	6	17	19	8	9	11	1	7	5	3	3	98	39	8	5			46	164,935
	平成27年	10	5	13	8	10	7	4	5	3	5	1	7	78	45	5	6			22	231,733
	平成28年	11	8	18	5	5	4	5	9	2	1	4	4	76	32	12	4			28	203,966
	平成29年	4	9	17	7	11	9	1		2	1	4	8	73	33	4	5			31	112,763

市町村別出火率・損害額の状況

市町村	平成28年				平成29年			
	件数	構成比（%）	損害額（千円）	出火率	件数	構成比（%）	損害額（千円）	出火率
飯田市	36	47.5	113,010	3.5	35	47.9	48,787	3.5
松川町	5	6.6	2,229	3.8	4	5.5	5,029	3.1
高森町	8	10.5	40,425	6.2	2	2.7		1.5
阿南町	2	2.6	271	4.0	5	6.8	12,386	10.5
阿智村	6	7.9	157	9.1	11	15.1	1,624	17.0
平谷村					1	1.4		22.1
根羽村								
下條村	3	3.9	22,973	7.6	4	5.5	4,394	10.7
売木村	1	1.3		16.2	1	1.4	231	17.9
天龍村	1	1.3		7.4	2	2.7	21,398	15.2
泰阜村	2	2.6		11.4	3	4.1	12,313	18.1
喬木村	4	5.3	5,148	6.3				
豊丘村	5	6.6	19,732	7.6	2	2.7	317	3.1
大鹿村	3	3.9	21	29.5	3	4.1	6,284	29.3
合　計	76	100.0	203,966	4.7	73	100.0	112,763	4.5

（注）出火率とは、人口１万人当たりの出火件数を表し、平成29年の出火率は、全国3.06、長野県3.96である。

原因別月別火災発生状況

（平成29年）

No.	月別 / 原因区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
02	たばこ					1	4						1	6
03	こんろ	2	1		1									4
04	かまど													
05	風呂かまど				1									1
06	炉													
07	焼却炉		1	1									2	4
08	ストーブ			2	1							1		4
09	こたつ													
10	ボイラー													
11	煙突・煙道						1					1	1	3
12	排気管													
13	電気機器													
14	電気装置												1	1
15	電灯・電話等の配線		1											1
16	内燃機関													
17	配線機器													
18	火あそび		1											1
19	マッチ・ライター													
20	たき火		1	4	1	1	2							9
21	溶接機・切断機													
22	灯火													
23	衝突の火花													
24	取灰		1			1								2
25	火入れ	1	2	4	1		1							9
26	放火					1				1		2	1	5
27	放火の疑い					2								2
28	その他		1	2	1	4		1		1			1	11
29	不明・調査中	1		4	1	1	1				1		1	10
合計		4	9	17	7	11	9	1		2	1	4	8	73

時間帯別出火状況

（平成29年）

区分 / 時間帯	発生件数	種別（件）						死傷者（人）		発生割合（%）
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	死者	傷者	
0時台	1	1								1.4
1時台	1	1								1.4
2時台	1	1								1.4
3時台										
4時台	1	1								1.4
5時台	2	1		1						2.7
6時台	1	1							1	1.4
7時台										
8時台	3	2		1						4.1
9時台	5	3		1			1		2	6.8
10時台	3		1				2		2	4.1
11時台	11	2		1			8	1		15.1
12時台	3		1				2			4.1
13時台	5	1	1				3		1	6.8
14時台	9	3		1			5		2	12.3
15時台	6	1					5	1		8.2
16時台	7	4					3		1	9.6
17時台	1	1							2	1.4
18時台	3	2	1							4.1
19時台	3	3								4.1
20時台	2						2			2.7
21時台	3	3							1	4.1
22時台	1	1								1.4
23時台	1	1								1.4
不明										
合計	73	33	4	5			31	2	12	100.0

覚知別通報状況

（平成29年）

覚知方法区分										
消防機関側		119通報			加入電話		警察電話	駆け付け通報	事後聞知	その他
通報者側		（固定）NTT以外	（固定）NTT	携帯電話	固定電話	携帯電話	—	—	—	—
件数	73	5	17	35	3	4			7	2
割合（%）	100.0	6.8	23.3	47.9	4.1	5.5			9.6	2.7

救　急

署別・月別救急出動件数

（平成29年）

署／月	飯田消防署	羽場分署	伊賀良消防署	山本分署	龍江分署	高森消防署	座光寺分署	阿南消防署	平谷分署	和田分署	合計
1月	152	74	116	52	48	104	91	40	23	27	727
2月	142	50	106	51	39	93	78	30	17	21	627
3月	135	53	77	47	40	90	65	36	12	20	575
4月	110	40	81	42	39	80	85	32	11	13	533
5月	122	46	79	37	31	64	72	38	19	24	532
6月	121	44	87	41	40	74	56	44	15	25	547
7月	153	38	75	38	46	78	71	43	16	25	583
8月	152	52	98	45	35	100	69	44	16	19	630
9月	124	52	96	45	34	71	77	39	13	19	570
10月	131	42	73	41	42	82	56	30	21	23	541
11月	134	47	97	34	40	83	66	25	16	17	559
12月	178	61	116	45	47	101	83	41	14	24	710
合計	1,654	599	1,101	518	481	1,020	869	442	193	257	7,134

事故種別・月別救急出動件数

（平成29年）

事故種別／区分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			合計
											転院搬送	医師搬送	その他	
1月		3		31	5	4	117	2	3	500	62			727
2月				33	8	1	87		4	440	54			627
3月	2			37	4		86	1	3	393	48		1	575
4月	2			35	6	1	83	1	9	340	54		2	533
5月	1		1	31	4	6	87	2	5	342	51		2	532
6月	2			39	6	6	79	1	5	357	49		3	547
7月				43	2	6	91	2	6	387	45		1	583
8月			1	54	6	5	101	2	6	385	70			630
9月				41	8	7	114	1	2	346	50		1	570
10月				43	2	9	80	1	3	335	67		1	541
11月	1			36	3		92	2	4	366	54		1	559
12月	3			39	6	1	101	2	2	505	49		2	710
合計	11	3	2	462	60	46	1,118	17	52	4,696	653		14	7,134

事故種別・年齢区分別・傷病程度別搬送人員

（平成29年）

年齢区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児	死亡												
	重症												
	中等症										1	2	3
	軽症											1	1
	その他												
	計										1	3	4
乳幼児	死亡												
	重症				1							1	2
	中等症				1			5			41	10	57
	軽症				9			50			92	3	154
	その他												
	計				11			55			133	14	213
少年	死亡										1		1
	重症							2			1	1	4
	中等症				8		5	8		1	11	7	40
	軽症				35	1	20	28		1	74	3	162
	その他												
	計				43	1	25	38		2	87	11	207
成年	死亡				5			1		6	14	1	27
	重症	2	1		10	4		7		2	54	36	116
	中等症	2			43	19	3	63	1	14	257	84	486
	軽症	2			242	24	17	119	10	7	675	18	1,114
	その他										5	1	6
	計	6	1		300	47	20	190	11	29	1,005	140	1,749
老人	死亡				3			34		2	143		182
	重症		1		7	1		84			375	117	585
	中等症	2	1		26	7		323	1	7	1,628	339	2,334
	軽症	3			99	4	1	343	4	1	1,099	28	1,582
	その他				1			2			10	1	14
	計	5	2		136	12	1	786	5	10	3,255	485	4,697
合計	死亡				8			35		8	158	1	210
	重症	2	2		18	5		93		2	430	155	707
	中等症	4	1		78	26	8	399	2	22	1,938	442	2,920
	軽症	5			385	29	38	540	14	9	1,940	53	3,013
	その他				1			2			15	2	20
	計	11	3		490	60	46	1,069	16	41	4,481	653	6,870

救急隊員の行った応急処置

（平成29年）

応急処置＼事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
応急処置対象人員		9	3		490	60	46	1,066	17	41	4,480	649	6,861
止血					27	11	3	116	4	2	27	1	191
固定			3		330	23	19	416	4	4	83	66	948
人工呼吸								1			11	1	13
胸骨圧迫											1		1
心肺蘇生					7			39		8	164		218
酸素吸入		1	1		37	9	1	114	1	12	1,204	203	1,583
気道確保					7			51		12	272	9	351
（うち、気管挿管）								14			10	1	25
（うち、気管挿管以外の特定行為気道確保）					5			10		3	72		90
保温		9	3		215	27	18	583	9	19	2,933	356	4,172
被覆		2	1		83	29	5	254	5	9	22	1	411
在宅療法継続					1			14			158	7	180
ショックパンツ血圧保持													
除細動								1			15		16
静脈路確保	CPA前				1	1		4			22		28
	CPA				4			12		3	65		84
薬剤投与	アドレナリン				2			4			26		32
	ブドウ糖										14		14
	エピペン												
血糖値測定					2		1	4		2	115	1	125
その他の処置		9	3		419	53	40	981	13	36	4,339	555	6,448
血圧測定		11	3		471	59	46	1,000	16	32	4,277	631	6,546
心呼吸音聴取		5	1		315	29	11	415	7	22	2,438	207	3,450
血中酸素飽和度測定		10	3		478	58	46	1,019	16	32	4,323	639	6,624
心電図測定		8	3		351	49	31	909	12	35	4,264	567	6,229
合計		55	21		2,750	348	221	5,937	87	231	24,773	3,244	37,664

市町村別・出動件数・搬送人員・事故種別救急業務実施状況

種別 / 市町村	救急事																				
	出動件数	搬送人員	不搬送	火災			自然災害			水難			交通事故			労働災害			運動競技		
				出動件数	搬送人員	不搬送	出動件数	搬送人員	不搬送	出動件数	搬送人員	不搬送	出動件数	搬送人員	不搬送	出動件数	搬送人員	不搬送	出動件数	搬送人員	不搬送
飯田市	4,450	4,308	190	4	3	1							306	325	22	38	38		26	26	
(旧市内)	928	882	52	3	3								61	57	8	4	4		3	3	
(座光寺)	146	138	9										13	13	1						
(松尾)	580	566	23										33	40	2	6	6		5	5	
(下久堅)	100	91	9	1		1							4	4					1	1	
(竜丘)	192	186	8										14	13	3	4	4				
(三穂)	43	43											1	1		1	1				
(山本)	163	159	4										10	8	2				1	1	
(伊賀良)	621	606	24										66	70	4	8	8		1	1	
(川路)	139	134	5										7	7		1	1				
(龍江)	140	137	5										9	11		4	4		2	2	
(千代)	61	58	3										2	2							
(上久堅)	32	33														1	1				
(鼎)	542	528	23										43	51	1	5	5		6	6	
(上郷)	572	564	16										35	40		3	3		7	7	
(上村)	49	47	2										2	2		1	1				
(南信濃)	142	136	7										6	6	1						
松川町	480	461	24	1	1								18	22	1	7	7		9	9	
高森町	507	489	22										24	26	2	4	4				
阿南町	258	255	8										19	24		1	1		5	5	
阿智村	389	365	29	2	2	1	1	1					31	33	1	4	4		1	1	
平谷村	39	33	6										2	1	1						
根羽村	60	58	2				1	1					5	5							
下條村	157	153	6										8	10					1	1	
売木村	32	28	4				1	1					2	1	1						
天龍村	101	94	8	2	2								3	4							
泰阜村	44	40	4	1	1								3	3					1	1	
喬木村	246	234	14							1		1	8	9		2	2		1	1	
豊丘村	279	271	11	1	2								13	14		2	2		2	2	
大鹿村	60	56	4							1		1	2	1	1	2	2				
中央道	30	23	7										17	11	6						
三遠南信	1	1																			
その他	1	1											1	1							
合計	7,134	6,870	339	11	11	2	3	3		2		2	462	490	35	60	60		46	46	

（平成29年）

故種別																							
一般負傷			加害			自損行為			急病			転院搬送			医師搬送			資器材搬送			その他		
出動件数	搬送人員	不搬送	出動件数	搬送人員	不搬送	出動件数	搬送人員	不搬送	出動件数	搬送人員	不搬送	出動件数	搬送人員	不搬送	出動件数	搬送人員	不搬送	出動件数	搬送人員	不搬送	出動件数	搬送人員	不搬送
689	663	28	11	11		30	28	2	2913	2789	128	424	423	1							9	2	8
151	143	8	4	4		6	5	1	613	585	30	78	78								5		5
24	24					1	1		105	97	8	3	3										
74	74					2	2		356	335	21	104	104										
19	17	2				1	1		74	68	6												
34	32	2				3	3		134	131	3	3	3										
8	8		1	1					32	32													
25	25		4	4		1	1		122	120	2												
96	94	2				3	3		388	370	18	58	58								1	2	
21	19	2							102	99	3	8	8										
30	28	2				1	1		92	89	3	2	2										
16	14	2							43	42	1												
5	6								26	26													
70	66	4				4	3	1	310	294	16	104	103	1									
83	81	3	2	2		7	7		373	364	11	60	60								2		2
10	9	1							33	32	1	3	3										
23	23					1	1		110	105	5	1	1								1		1
76	72	4	1	1		6	4	2	332	315	16	30	30										1
67	63	4	4	4		5	4	1	337	323	14	65	65								1		1
39	39					1		1	118	112	6	75	74	1									
76	71	6	1		1	2	1	1	256	237	19	15	15										
17	14	3				1		1	19	18	1												
7	7					1		1	43	42	1	3	3										
24	24					3	2	1	115	111	4	5	5								1		1
8	8								20	17	3	1	1										
11	11								78	72	6	5	5								2		2
13	10	3				2	1	1	20	20		4	4										
37	37	1							181	170	11	15	15								1		1
46	43	3							215	208	8												
8	7	1				1	1		35	34	1	11	11										
									13	12	1												
									1	1													
1,118	1,069	53	17	16	1	52	41	11	4,696	4,481	219	653	651	2							14	2	14

事故種別・医療機関別搬送人員

（平成29年）

告示の別等	事故種別等 / 開設者別		急病	うち管外	交通事故	うち管外	一般負傷	うち管外	その他	うち管外	合計	うち管外
救急告示医療機関	国立		17	17	5	5	3	3	16	16	41	41
	公立		2,146	13	247		589		546	9	3,528	22
	公的		334	11	6	3	32		34	16	406	30
	私的	病院	1,956		164	1	392		215	4	2,727	5
		診療所	11		66		49		14		140	
	小計		4,464	41	488	9	1,065	3	825	45	6,842	98
その他の医療機関	国立											
	公立								3	3	3	3
	公的											
	私的	病院							2		2	
		診療所	17		2		3				22	
	小計		17		2		3		5	3	27	3
医療機関計	国立		17	17	5	5	3	3	16	16	41	41
	公立		2,146	13	247		589		549	12	3,531	25
	公的		334	11	6	3	32		34	16	406	30
	私的	病院	1,956		164	1	392		217	4	2,729	5
		診療所	28		68		52		14		162	
	累計		4,481	41	490	9	1,068	3	830	48	6,869	101
その他の場所	接骨院等						1				1	
	その他											
	計						1				1	
合計			4,481	41	490	9	1,069	3	830	48	6,870	101

最近5年間の事故種別救急出動状況

（平成25年～平成29年）

事故種別／年	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
平成25年	15	4	2	526	59	54	1,110	15	65	4,221	608	6,679
平成26年	17	6	8	546	67	38	1,087	29	58	4,526	725	7,107
平成27年	15	1	8	474	58	30	1,098	20	64	4,462	724	6,954
平成28年	11		9	520	65	40	1,207	11	64	4,611	641	7,179
平成29年	11	3	2	462	60	46	1,118	17	52	4,696	667	7,134

住民に対する応急手当普及啓発活動の実施状況

（平成25年～平成29年）

講習等	普通救命講習		上級救命講習		その他の講習		合　計	
年	受講人数	回数	受講人数	回数	受講人数	回数	受講人数	回数
平成25年	1,684	135	27	4	4,032	149	5,743	288
平成26年	1,904	148	18	3	5,303	173	7,225	324
平成27年	2,080	158	93	7	6,185	193	8,386	360
平成28年	1,918	141	50	6	6,030	202	7,998	349
平成29年	1,894	139	114	10	5,686	210	7,694	359
合　計	9,480	721	302	30	27,236	927	37,046	1,680

飯伊地域メディカルコントロール事後検証会実施状況

（平成15年～平成29年）

実施年	実施回数	検証事案件数	参加検証医	参加救急隊員
平成15年～20年	65回　第１回～第65回	1,036	380	2,574
平成21年	12回　第66回～第77回	204	43	359
平成22年	12回　第78回～第89回	265	42	326
平成23年	12回　第90回～第101回	294	47	414
平成24年	12回　第102回～第113回	257	43	367
平成25年	12回　第114回～第125回	188	41	402
平成26年	12回　第126回～第137回	157	33	294
平成27年	12回　第138回～第149回	135	33	294
平成28年	11回　第150回～第161回	215	28	356
平成29年	12回　第162回～第173回	181	42	463
合　計		2,932	732	5,849

（注）検証は、CPAのうち特定行為実施症例、心拍再開症例、65歳以下症例、特異事例症例、挿管症例等を実施。

救　助

救助出動状況

（平成29年）

件数区分＼事故種別	火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
出動件数	1	39	5	1	3	5	3	0	37	94
活動件数	1	24	4	0	0	3	3	0	27	62
救助人員	1	26	4	0	0	3	2	0	28	64

災害時における救助活動状況

（平成29年）

人員区分	事故種別	火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
出動人員	救助隊員	4	143	17	4	10	16	6	0	114	314
	消防隊員	2	175	30	5	15	16	7	0	141	391
	救急隊員	3	165	17	3	9	16	15	0	112	340
	合計	9	483	64	12	34	48	28	0	367	1,045
活動人員	救助隊員	4	44	11	0	0	4	6	0	61	130
	消防隊員	2	70	13	0	0	2	7	0	73	167
	救急隊員	3	76	11	0	0	10	6	0	76	182
	合計	9	190	35	0	0	16	19	0	210	479

車両区分	事故種別	火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
出動車両	救助工作車	1	37	4	1	2	4	1	0	24	74
	ポンプ車	0	28	4	1	2	2	0	0	22	59
	救急車	1	50	5	1	2	5	5	0	36	105
	その他車両	2	38	11	1	6	4	5	0	42	109
	合計	4	153	24	4	12	15	11	0	124	347
活動車両	救助工作車	1	12	2	0	0	1	1	0	11	28
	ポンプ車	0	14	1	0	0	0	0	0	12	27
	救急車	1	22	3	0	0	3	2	0	24	55
	その他車両	2	16	7	0	0	1	5	0	24	55
	合計	4	64	13	0	0	5	8	0	71	165

市町村別・事故種別出動状況

（平成29年）

種別／市町村別	出動件数	救助活動件数	救助人員	事故種別 火災 出動	火災 活動	火災 人員	交通事故 出動	交通事故 活動	交通事故 人員	水難事故 出動	水難事故 活動	水難事故 人員	風水害等自然災害 出動	風水害等自然災害 活動	風水害等自然災害 人員	機械による事故 出動	機械による事故 活動	機械による事故 人員	建物等による事故 出動	建物等による事故 活動	建物等による事故 人員	ガス及び酸欠事故 出動	ガス及び酸欠事故 活動	ガス及び酸欠事故 人員	破裂事故 出動	破裂事故 活動	破裂事故 人員	その他の事故 出動	その他の事故 活動	その他の事故 人員
飯田市	53	35	35	1	1	1	25	14	14	1	1	1				2			4	2	2	1	1	1				19	16	16
(旧市内)	8	4	4				3												1			1	1	1				3	3	3
(座光寺)	2	2	2				1	1	1																			1	1	1
(松尾)	7	6	6				4	3	3																			3	3	3
(下久堅)	4	3	3	1	1	1				1	1	1							1	1	1							1		
(竜丘)	3	1	1				3	1	1																					
(三穂)	2	1	1													1												1	1	1
(山本)	1	1	1				1	1	1																					
(伊賀良)	9	5	5				6	4	4										1									2	1	1
(川路)																														
(龍江)																														
(千代)	1	1	1																									1	1	1
(上久堅)	1																											1		
(鼎)	5	3	3				1									1												3	3	3
(上郷)	5	4	4				5	4	4																					
(上村)	2	2	2																1	1	1							1	1	1
(南信濃)	3	2	2				1																					2	2	2
松川町	11	8	7				3	3	3	1	1	1							1	1	1	1	1					5	2	2
高森町	5	3	3				1																					4	3	3
阿南町	3	1	1				1	1	1							1												1		
阿智村	5	4	7				1	1	3				1															3	3	4
平谷村	1	1	1							1	1	1																		
根羽村	1	1	1				1	1	1																					
下條村	2	2	2				1	1	1													1	1	1						
売木村	1	1	1							1	1	1																		
天龍村	2	2	2				1	1	1																			1	1	1
泰阜村	3	2	2				1	1	1																			2	1	1
喬木村	1	1	1																									1	1	1
豊丘村																														
大鹿村	2									1																		1		
中央道	4	1	1				4	1	1																					
三遠南信																														
その他																														
合計	94	62	64	1	1	1	39	24	26	5	4	4	1			3			5	3	3	3	3	2				37	27	28

署別・月別救助出動件数

（平成29年）

月別＼署別	飯田消防署	伊賀良消防署	高森消防署	阿南消防署	その他	合計
1月	2		2	2		6
2月	4	3		4		11
3月		4				4
4月	1	1	1	1		4
5月	1	2	1	1		5
6月	6	2		2		10
7月	2	2	3	2		9
8月	2	3	4	1		10
9月	1	2	5			8
10月		4	2	4		10
11月	3	1	2	1		7
12月	3	3	1	3		10
合計	25	27	21	21		94

最近5年間の事故種別救助出動状況

年別＼種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害風水害等	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	件数
平成25年	5	43	1	1	1	13	4		50	118
平成26年	4	49	6	3	2	7			53	124
平成27年	6	44	10		4	11	3		55	133
平成28年	4	42	9		1	7	3		45	111
平成29年	1	39	5	1	3	5	3		37	94

その他

署別出動状況

（平成29年）

種別＼署	飯田消防署		伊賀良消防署		高森消防署		阿南消防署		平成29年合計		平成28年合計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
火災	61	294	55	252	26	124	18	157	160	827	170	951
誤報等	6	35	10	46	2	10	2	6	20	97	15	76
救急	2,253	6,960	2,100	6,590	1,889	5,861	892	2,805	7,134	22,216	7,179	22,308
救助	75	356	39	208	31	154	21	157	166	875	215	1,063
風水害等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
演習訓練等	22	57	25	90	11	44	7	49	65	240	77	328
訓練指導	123	173	168	180	107	139	97	121	495	613	497	657
警防調査	44	121	99	191	28	44	62	96	233	452	318	668
原因調査	15	42	29	69	11	29	21	45	76	185	77	163
特別警戒	50	94	7	14	2	2	6	16	65	126	126	251
遭難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
予防査察	288	576	308	513	181	346	173	270	950	1,705	1,011	1,615
その他	191	500	316	612	577	755	380	626	1,464	2,493	3,266	4,500
合計	3,128	9,208	3,156	8,765	2,865	7,508	1,679	4,348	10,828	29,829	12,951	32,580

ヘリコプターとの連携状況

市町村別

（平成29年）

市町村	防災ヘリ等				ドクターヘリ				合　計			
	要請件数		活動件数		要請件数		活動件数		要請件数		活動件数	
飯田市	15	(14)	10	(10)	10		8		25	(14)	18	(10)
松川町					1		1		1		1	
高森町												
阿南町					10		4		10		4	
阿智村					3				3			
平谷村					1				1			
根羽村					4		1		4		1	
下條村					5		2		5		2	
売木村					1		1		1		1	
天龍村					13		7		13		7	
泰阜村					3		1		3		1	
喬木村					1		1		1		1	
豊丘村												
大鹿村	1	(1)			5		5		6	(1)	5	
その他												
合　計	16	(15)	10	(10)	57		31		73	(15)	41	(10)

災害別

（平成29年）

年	災害種別	防災ヘリ等				ドクターヘリ				合　計			
		要請件数		活動件数		要請件数		活動件数		要請件数		活動件数	
平成29年	火　災	10	(9)	8	(8)					10	(9)	8	(8)
	救　急					57		31		57		31	
	救　助	6	(6)	2	(2)					6	(6)	2	(2)
	そ の 他												
	合　計	16	(15)	10	(10)	57		31		73	(15)	41	(10)
平成28年	火　災	5	(1)	2						5	(1)	2	
	救　急	3	(1)	1	(1)	81	(1)	35	(1)	84	(2)	36	(2)
	救　助	9	(1)	7	(1)					9	(1)	7	(1)
	そ の 他												
	合　計	17	(3)	10	(2)	81	(1)	35	(1)	98	(4)	45	(3)

※(　)は他県及び県警ヘリの件数で内数
※要請したが活動のなかった事案は、他事案対処中、天候不良によるフライト不可、傷病者の状態や現場の判断などでヘリを不要としたもの。
※医療機関から直接要請したドクターヘリは含まない。

119番等緊急通報受付状況

（平成29年）

月	火災	救急	救助	その他の災害	応答なし	いたずら	間違い	試験	通報訓練	病院案内	問い合わせ	その他	転送	合計
1	15	737	8	8	16	2	27	29	14	18	27	15	2	918
2	14	637	12	8	10	1	10	25	15	8	28	2	3	773
3	24	589	3	18	10	0	21	105	42	20	27	7	2	868
4	24	537	5	8	17	0	20	50	43	16	40	12	2	774
5	12	525	4	9	24	0	21	36	55	13	32	12	1	744
6	18	547	6	11	15	1	29	44	65	15	35	13	0	799
7	1	583	10	9	14	1	18	37	23	22	48	21	1	788
8	0	635	11	19	26	6	19	43	20	21	48	34	4	886
9	2	580	9	28	8	0	31	64	57	8	39	15	3	844
10	2	553	10	20	8	0	28	83	75	16	45	13	2	855
11	4	561	6	10	15	1	20	55	68	15	23	28	0	806
12	12	721	10	8	22	1	28	43	39	14	49	27	0	974
合計	128	7,205	94	156	185	13	272	614	516	186	441	199	20	10,029

受付回線別119番等緊急通報受付状況等

（平成29年）

種別／月	119番種類別			その他			平成29年通報合計	平成28年通報合計	平成27年通報合計	平成29年テレホンサービス
	NTT	IP等	携帯	FAX119	ﾒｰﾙ119	その他				
1	379	260	268		1	10	918	863	873	95
2	298	206	241			28	773	811	767	104
3	360	223	262		1	22	868	922	945	140
4	307	191	253			23	774	796	882	88
5	276	183	271			14	744	834	836	138
6	335	185	260			19	799	732	703	103
7	304	178	276		1	29	788	870	850	48
8	286	227	335	1	1	36	886	909	862	50
9	327	203	260			54	844	817	846	64
10	343	204	285			23	855	819	909	27
11	351	191	236		2	26	806	807	793	51
12	376	266	308			24	974	927	851	113
合計	3,942	2,517	3,255	1	6	308	10,029	10,107	10,117	1,021

※「その他」については、駆け込み、普通電話等による緊急通報

南信州広域連合火薬類処理事務の概要
(知事の権限に属する事務の処理概要)

(平成29年度)

火薬取締法(以下「法」という。)及び火薬類取締法施行令の規定に基づく次の事項		事務処理件数				
		合計	飯田	伊賀良	高森	阿南
(1)	法第17条第1項の規定による火薬類の譲渡し又は譲受の許可	22	5	5	9	3
(2)	法第17条第3項の規定による火薬類の譲渡し又は譲受の許可の取り消し					
(3)	法第17条第4項の規定による許可証の交付	22	5	5	9	3
(4)	法第17条第6項の規定による有効期間の認定	22	5	5	9	3
(5)	法第17条第7項の規定による許可証の書換え	3		3		
(6)	法第17条第8項の規定による許可証の再交付					
(7)	法第25条第1項の規定による火薬類の消費の許可	95	13	29	25	28
(8)	法第25条第3項の規定による火薬類の消費の許可の取消					
(9)	法第27条第1項の規定による廃棄の許可					
(10)	法第29条第4項の規定による保安教育計画を定めるべき者の指定	7	1		5	1
(11)	法第29条第5項において準用する同条第1項の規定による保安教育計画の設定又は変更の認可	7	1		5	1
(12)	法第30条第3項の規定による取扱保安責任者又は取扱副保安責任者の選任又は解任の届出の受理((7)の許可に係わるものに限る。(13)から(15)までにおいて同じ。)	15	3		10	2
(13)	法第33条第2項の規定による取扱保安責任者の代理者の選任又は解任の届出の受理	12	2		8	2
(14)	法第34条第2項の規定による取扱保安責任者の解任命令					
(15)	法第42条の規定による報告の徴収					
(16)	法第43条第1項の規定による立入検査等((1)、(7)及び(9)の許可に係わるものに限る。(17)から(20)までにおいて同じ。)	85	11	28	20	26
(17)	法第45条の規定による緊急措置					
(18)	法第46条第2項の規定による災害等発生時における報告の聴取					
(19)	法第47条の規定による災害等発生時における現状変更の指示					
(20)	法第48条第1項の規定による許可条件の設定	105	16	33	28	28
(21)	法第52条第1項の規定による公安委員会の意見の聴取	85	11	28	21	25
(22)	法第52条第2項の規定による公安委員会への通報((1)、(2)、(7)から(9)まで及び(17)の許可等に係わるものに限る。)					
(23)	火薬類取締法施行令第2条の規定による許可証の返納の受理	21	5	4	9	3
合　計		501	78	140	158	125

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号)の規定に基づく事務事項		事務処理件数				
		合計	飯田	伊賀良	高森	阿南
(2)	第38条の3の規定による液化石油ガス設置工事の届出の受理	10	3	6		1

(注)事務事項は、知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例(平成11年長野県条例第46号)別表に定める項及び号と整合するものである。

消 防 団

平成29年度 飯伊消防技術大会

関係市町村の消防団長

（平成30年４月１日現在）

市　町　村　名	団　長　名
飯　田　市	宮　下　和　博
松　川　町	大　澤　彰　実
高　森　町	上　島　龍　実
阿　南　町	金　田　和　弘
阿　智　村	勝　野　真　也
平　谷　村	川　上　信　彦
根　羽　村	鈴　木　伸　弥
下　條　村	古　田　憲　雄
売　木　村	松　村　文　彦
天　龍　村	中　島　俊　博
泰　阜　村	清　水　英　昭
喬　木　村	湯　澤　直　幸
豊　丘　村	木　下　和　章
大　鹿　村	神　崎　鋭　介

１４消防団・飯田広域消防連絡会議

消防団員の現況
年齢別消防団員数

（平成30年４月１日現在）

市町村／年齢別		飯田市	松川町	高森町	阿南町	阿智村	平谷村	根羽村	下條村	売木村	天龍村	泰阜村	喬木村	豊丘村	大鹿村	合計
分団数		18	2	3	4	8	2	3	5	1	2	2	2	3	1	56
条例定数		1,345	296	255	190	420	40	60	150	50	75	90	180	180	40	3,371
20歳未満		12	2	1	1	2			2		2		7	3		32
		(1)									(1)			(1)		(3)
20歳～29歳		531	137	138	45	103	7	13	76	8	26	42	77	82	14	1,299
		(54)	(6)	(17)	(1)	(5)		(2)			(6)		(6)	(15)		(112)
30歳～39歳		558	121	50	81	151	16	24	71	12	21	46	57	49	24	1,281
		(23)	(3)	(1)	(3)	(4)		(2)		(1)	(1)		(4)	(3)		(45)
40歳～49歳		29	25	2	30	78	10	11	1	12	9	2	4	4	2	219
		(1)			(1)											(2)
50歳以上		25	4		8	22				6			19		1	85
					(1)					(2)						(3)
団員数		1,155	289	191	165	356	33	48	150	38	58	90	164	138	41	2,916
		(79)	(9)	(18)	(6)	(9)		(4)		(3)	(8)		(10)	(19)		(165)
平均年齢	男性	30.3	30.4	27.5	34.2	35.0	35.2	33.4	29.0	38.6	31.9	29.7	28.2	28.6	32.3	31.2
	女性	27.3	28.1	25.6	37.8	28.2		31.5		45.7	24.5		29.3	25.7		27.8

※下段（　）は女性団員数で内数

消防団出動状況

（平成29年）

市町村 / 種別		合計	火災	救助活動	風水害等災害	演習訓練等	広報指導	警防調査	特別警戒	捜索	予防査察	誤報等	その他
飯田市	出動回数	3,037	24			1,902	926	15	123		36	4	7
	出動延人員	43,099	1,535			25,424	11,668	188	2,227		1,063	179	815
松川町	出動回数	44	4			10	12		5		3		10
	出動延人員	5,297	307			1,500	590		200		600		2,100
高森町	出動回数	85	2			40	39		4				
	出動延人員	5,334	77			3,400	1,550		307				
阿南町	出動回数	13	3			7	1				2		
	出動延人員	836	83			532	21				200		
阿智村	出動回数	64	11			34	7		5	2	5		
	出動延人員	4,516	611			1,570	452		526	187	1,170		
平谷村	出動回数	22				11	1		5				5
	出動延人員	212				92	8		48				64
根羽村	出動回数	40	2			10	24		4				
	出動延人員	1,229	59			480	600		90				
下條村	出動回数	275	4			30	240				1		
	出動延人員	3,583	215			3,000	360				8		
売木村	出動回数	8				2			4		2		
	出動延人員	138				13			70		55		
天龍村	出動回数	73	1			65	2		4	1			
	出動延人員	927	35			790	20		52	30			
泰阜村	出動回数	30	3			19	4		2		2		
	出動延人員	2,203	222			1,782	28		91		80		
喬木村	出動回数	1								1			
	出動延人員	80								80			
豊丘村	出動回数	43	2			12	27				2		
	出動延人員	2,055	93			660	1,134				168		
大鹿村	出動回数	48	3			11	22		10		2		
	出動延人員	598	62			224	220		65		27		
合計	出動回数	3,783	59			2,153	1,305	15	166	4	55	4	22
	出動延人員	70,107	3,299			39,467	16,651	188	3,676	297	3,371	179	2,979

消防機械の現況

（平成30年４月１日現在）

車種等＼市町村	飯田市	松川町	高森町	阿南町	阿智村	平谷村	根羽村	下條村	売木村	天龍村	泰阜村	喬木村	豊丘村	大鹿村	合計台数
消防ポンプ自動車	17	4	2	3	1	1	1			1					30
小型動力ポンプ付積載車	57	8	13	22	21	3	10	5	4	9	7	15	12	8	194
小型動力ポンプ	10		13		18	4	2	15	2	1	2				67
小　　計	84	12	28	25	40	8	13	20	6	11	9	15	12	8	291

消防水利の状況

（平成30年４月１日現在）

区分＼市町村	消火栓	防火水槽（基）					プール
		100㎥以上	60㎥以上100㎥未満	40㎥以上60㎥未満	20㎥以上40㎥未満	合　計	（基）
飯田市	1065	35	35	247	404	721	46
松川町	64	11		39	74	124	7
高森町	65	14	2	55	37	108	5
阿南町	14		3	156	27	186	2
阿智村	61		4	98	39	141	8
平谷村				9	3	12	
根羽村	25	1	1	18	13	33	1
下條村	36	2		44	11	57	1
売木村	27			9	2	11	1
天龍村				12	33	45	6
泰阜村				67	62	129	3
喬木村	44	4		12	30	46	5
豊丘村	21	6	2	51	41	100	3
大鹿村		2		5	39	46	5
合　計	1,422	75	47	822	815	1,759	93

※消防水利は、各市町村の平成30年度消防防災・震災対策現況調査に基づく数値です。

関係団体

座光寺少年少女消防クラブ「消防庁長官表彰」
平成30年3月24日㈯

鼎少年消防クラブ「一般財団法人日本防火・防災協会表彰」
平成30年3月23日㈮

南信州危険物安全協会

1　会の目的

本会は、会員相互の融和親睦と危険物の取り扱い及び管理の向上を図り、これに因する災害防止に努め、もって各事業所の健全なる振興発展と社会公共の福祉増進に寄与することを目的とする。

2　会　　員

一般会員数		232
賛助会員数		26

3　危険物施設数

指定数量	10倍未満	116
〃	10倍以上300倍未満	182
〃	300倍以上1000倍未満	9
〃	1000倍以上	1
合　　計		308

4　発足年月日

昭和29年5月1日

飯田地区防火管理者協議会

1　会の目的

この会は、消防関係法令の定める防火管理に関する研究を行い、安全管理を徹底し、災害の未然防止に努め、社会公共の福祉増進に寄与することを目的とする。

2　会　員

(1) 加入事業所数　416

部会別	業　種　別	防　火　対　象　物	事業所
第1部会	工　場　関　係	工場・作業所・自動車車庫・倉庫	59
第2部会	学　校　関　係	小中学校・高等学校・大学・各種学校・幼稚園・児童福祉施設	76
第3部会	官公署事務所関係	官公署・事務所・銀行・図書館	57
第4部会	公衆収容関係	映画館・キャバレー・遊技場・料理店・飲食店・百貨店・店舗・浴場	68
第5部会	宿泊収容関係	旅館・ホテル・病院・老人ホーム・寄宿舎・共同住宅	84
第6部会	公衆集合関係	神社・寺院・公会堂・集会場	72

(注) 複合防火対象物は、その主たる用途により分類する。

(2) 賛助事業所数　15

3　発足年月日

昭和37年7月4日

飯田地区幼少年婦人防火委員会

1　会の目的

この会は、幼年消防クラブ・少年消防クラブ及び婦人防火クラブの新たな結成及び既成クラブのクラブ員の増員並びに活動の充実を推進することを目的とする。

2　事　　業

この会は、次に揚げる事業を行う。

(1) 防火・防災知識の普及徹底

(2) 防火・防災のための研修及び訓練

(3) 各クラブの組織の拡大及び強化

(4) 各クラブ間の連絡及び調整

(5) 優良クラブの表彰

(6) その他本委員会の目的達成のため必要と認める事項

3　クラブ数

クラブ／市町村	婦人防火クラブ	少年消防クラブ	幼年消防クラブ
飯田市		4	36
松川町			5
高森町			5
阿南町			3
阿智村	1		6
平谷村			1
根羽村		1	1
下條村			1
売木村			1
天龍村			1
泰阜村			1
喬木村		1	3
豊丘村			3
大鹿村			1
計	1	6	68

4　発足年月日

平成2年10月1日

消　防　年　報

２０１８

発　行　　平成３０年８月
編　集　　飯田広域消防本部
飯田市東栄町3345番地
TEL　(0265)　23-0119
FAX　(0265)　23-6007

この冊子は、再生紙を使用しています。